を追求する上での分析的な研究の話。 る読みやすさとか疲れにくさとか、

電子ペーパーというものがどう応用されてい

番ご関心の強いところだと思うが、

将来展望はどうなるか、

特に本と新聞を取

出版社も手放しではおられない。

京極夏彦さん

子ペーパーということだが、

本日のテーマは書籍・新聞に変革をもたらす電

想していいのかいろいろ悩んでいるところでもあ

そんな展望も含めてお話ししたい

非常に話題性のあるテーマで、

籍がどうなるか、

新聞がどうなるかというの

私自身もどう予

ーとは何物なのか、

何を狙っているものなのか。

そもそも電子ペーパ

詳しい技術的な話は避けるが、

ているか。

われわれの大学で研究してい

そういうこと それから、

大体どんな技術が



発行所 公益財団法人

http://www.chosakai.gr.jp/

噴出する内外メディアの問題点 実用段階に入った電子ペーパー

山本

武利…

10

面谷

·山口海

光 ::

20 17 14

紀雄

目

次

(七月号

記者の「昭和」~手紙と日記に見る②

OANAがソウルで特別総会

、スメディア関連の裁判を見る

 $\widehat{47}$

雄

毎月一回一日発行昭和40年2月20日 三種郵便物認可

新 実用段階に入った電子ペーパ 主にな れ るか

血

(東海大学教授)



地デジTV普及率、

83 ・ 8 % に :

音

宏:

28

晋天間基地打開と日米交渉

池

田

龍夫…

26

機密費問題とメディアの

沈黙

藤

田

博司

24

メディア談話室)

プレスウオッチング**】**

上げて話をさせていただく。

加速する開発

とか、ソニーの 題になった。その前からアマゾンの 加速」といった危機的な状況がある。 る」「本の販売自体が二兆円を割る」「雑誌離れ 末競争が イパッド」) に出てくる。 て電子書籍は上り調子で、 なか大変な状況になりつつある。「書店はつぶれ 最近の新聞で目に付く紙面を見ると、 一段と厳しくなってきた。 iPadが参入してきて電子書籍の端 という端末を出してきて、 ここにきてアップルがiPad (「ア 「リブリエ」とか先行するものは いろいろな端末が次々 「キンドル」 これに対し 非常に話 本はなか

新聞通信調査会 電話 03(3593)1081

とで、 して、 と本の世界はどういうことになるのか、 ってかなり面白 ンとかグーグルが出版社を介さずに作家と契約を いう市場はすごい勢いで伸びるらしい。 ③中国の新聞界にもデジタル化の大波 ②3DTV放送、W杯でお目見え … 金山 書評…『どうする情報源』…… 作品をiPadに載せることにしようというこ 心仏ルモンド、 海外情報 もっと高い著作権料を払うということもあ 本より安く売り出した。 他国メディア支配下に・・・ い状況になってきた。 もう一 ·広瀬 前澤 電子書籍と つはアマゾ 正博… 英彦: そうなる なかなか 猛 :: 32 31 30 23 13

本の世界がどんどん変わろうとしているのに比 それに対して新聞はどうかというと、 全体的 想像しにくくなってきている。

ないところかもしれないが。 に比べると、まだあまり下げる決断が付かないと るということで、 より倍以上高い。 ると紙版 を取ると四千円。紙を取ってさらに電子版もとな 新聞の値段を聞いてちょっとがっかりした。 いうところだと思う。 で四千四 『日経新聞』もついにやり始めた。 電子書籍のコンテンツが相当安く出ているの ちょっと腰 にプラス千円。 百円ぐらいの『日経新聞』の電子版だけ これは相当販売店に遠慮してい おっかなびっくりの感じがす が重いかなという感じは 販売店を考えるとやむを得 が先行的にやってい 電子版は私が思っていた しかし、電子 紙版 て、

電子ペーパーの利点

そういう状況の中で電子ペー ところからお話ししたい。 パーについて根 つ

うと、大抵の場合、 冊 パソコンに取り込んでディスプレー上で読むこと いうのが普通 六時間掛けて読 うのが少なくとも最近までの状況だった。 で本が読めるかという話題。 これは私が必ず紹介することだが、 技術的には全く問題なくできる。 六時間も掛かる内容の本を五、六時間ぶっ ディスプレー上でわれわれが読むかとい いうと、 0) 人の思うところだと思う。そうい むなら紙の本の方で読みたい、と ディスプ それはやめておきたい。五、 レーで本は読めないと 分厚い本の中身を ただし、一 ディスプレ

> う状況がずっと続いてきた。 がなかった。こういうディスプレーでは駄目とい 的で大事な行為だが、 いうことが根っこに動機としてある。 のは読める電子媒体をちゃんと用意しましょうと という行為にちゃんと応えてくれる電子メディア 現状を考えてみると、 電子ペーパーという 読

わけで、IT時代はペーパーレスが進むだろうと 無駄な話だが、やはりわれわれにとって紙の方が てから読むということをする。 うだが、電子メールの少し長いものはプリントし ーに満足していないという現状があって、 もあまり困らない。それはわれわれがディスプレ っと紙が使われる。 しなければという動機がある。 まだ読みやすい 一般的には期待されるが、 これまでディスプレーには何かと不満があった 状況が続いている。 紙屋さんはIT時代になって 実態はITが進むとも 資源的には非常に ここを何とか 私もそ

が、 考えてみると、 ともあるが、紙の本や新聞の欠点は何だろうかと れが最大の欠点というか、 と。紙の表裏に二㍍しか入らない。 本も新聞も紙のままでいいじゃないかというこ 情報が増えるとすごい重さと面積になる。 最大の欠点は重くてかさばるこ 弱点だろう。 当たり前だ そ

ち運びがしやすい、 プレーにも非常に長所が多く、 代え難い なり欲張りなことを考えている。 電子ペーパーは何を狙っているかというと、 利点がある。 といったこと。 読みやすい、 圧倒的な長所は紙 印刷物、 電源不要、 一方、ディス電源不要、持 紙には か

電子ペー

ーという言葉があまりにも分かりや

むということはわれわれにとって非常に基本

ても、一つずつでも両立させることを目指してい である。 少なくとも紙 るのが電子ペーパーであ ことを考えている。一足飛びに全部は難しいとし レーの利点の両方を持たせたいと非常に欲張りな に何でも出せる。 と違って情報と媒体が分離していること。 電子ペーパー くずを出さないという意味で省資源 デジタル情報に適合性 は印刷物の 利点とディスプ 画

が切実ではないかと考えている。 を扱うことが多く、 文字をちゃんと出すものが欲しいと 欲しいという切実さを考えると、 いうことの切実さと、ちゃんと読める電子 しやすい。ただし、 いるんだということも多い。 一般的にマスコミでは広い定義で電 曲げられるテレビが欲しいと 学界的には静 その辺で定義が混乱 やは 芷 画の話をして り静 子ペ 3機の方 1 正 パー

(2)

ディスプレーの限界に挑

いる。 字情報を表示し続けるのに電力を必要としない。 光るディスプレーではなくて、 狙う場合と静 としてどんな候補があるかということは、 して紙と同じような光の届け方をするディスプレ あるいは紙と同じように、 ではどんな技術でそれを実現するか、 方式が向い 特に印刷物、 射型 ていることは確かだと思 正画を狙う場合とではかなり違って でメ 紙 七 の置き換えを狙う場 リー いったん書いたら文 性のあるディ 室内の照明を反射 動画を で合は、 スプレ

待されることがある。 あ 上 は非常に困難なことなので、 てみると、 る。 は狙わないのが現実解だと思う。 い言葉なの 薄くて折り畳 子ペー 幻想としては、 パーに対する理想と幻想を整理 めて、 逆に過剰 これは効用の 折り紙もできるの ペーパーというの な期待をされ 折り畳 みは多分技術 割に技術的に る部 かと期 だかか 分

セル 子が上に集まり、 せてあ ロシのマイ によって一つずつ実現していきたい項目である。 とは難し ある一定 子がそれぞれ もので、 n 追 ち ような白黒分離ができる。 んしてあり、 える。 が始めて ーニングして並 というふうに、 技術が用意されているか。 そういう理想に向かってどういう電子ペーパ 記ができる、 歩ける、 方で、 紙 白 クロ いが、 粒子が見えている部分と黒粒子が見えて 原理はそんなに複雑ではない。 いるのは電気泳動方式(図表1)という のように読みやすく疲れない、 壊れな 電圧を加えると、 これを挟む上下電極があって、 理 しり敷き詰め 例えば白プラス帯電、 その液体中に白い微粒子、 力 想として実現したいことはいろいろ 等々。 必要に応じてあるいは技術の進 プセルの中に絶縁性の液体が充て 異なる極性を帯びた状態で泳が マイナスの黒粒子が下に集まる 1, これらを一気に実現するこ 個々の部分の白黒を制御す 電源を気にしなくてい 7 こういうマイクロカプ お 最近広く実用に使わ 例えばプラスの白粒 こ、 黒マイナス帯 細 直径数十 黒い微粒 気楽に持 電極をパ そこに 1, 1 展

> るし、 白地は 質感の反射型の表示ができるということだ。 違うの 報を出すことができる。 したプリントのように、 る部分によって、 いトナーとほぼ同じようなものなので、 黒字の部分はコピー用 が従 紙 は、 0 画 パ 来の液晶 ルプの表面と似 面 が自ら光っていないことである。 白 パネルやブラウン管と大い 地に黒の表示ができる。 文字情報あるいは画像情 原理的に紙と同じような 紙の上に乗っている たような見え方をす コピー

黒

いう特徴を持っている。 うが、この方式はいったん文字を出してしまえ て同じ文字を出し続けるのにもある程度電力を使 は維持されることだ。 もう一つ大きいのは、 電力を加え続ける必要はない。 例えば液晶だと、 電源を切ってもこの表 メモリー性と 切り替え

ば、

う、 供給 年、 という台湾メー そのパネルを実際に造ったのがE っている。 米国で新しい製品を次々と出 ンがキンドルという製品を出して大いに話題にな この方式が初めて世の中に出 Е ソニーが発売した電子書籍端末のリ アメリカのベンチャー企業で、 元として発展を続けている(○九年にPVⅠ Ι n k社製のパ いずれにしてもここには電気泳動方式 カ 1 が買収)。 ネルが入っている。 しているし、 最近ではソニー たの この I n k は二 パ · ブリ ハネル アマゾ えれのの 0 工 \bigcirc が 兀

白黒表三 カラー が今 示の 上 にする研究も進んでいる。 番使われている電子ペー 細かなカラーフィ ル ター 基本的には パー を並 技 術だ

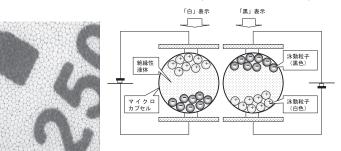
が、

0

から、 というものをブリヂストンがやってい している。 少し曲げても大丈夫というフレキシブル の表示で、 鮮やかさを上げる努力を続けているようだ。 やかさに欠けるといわ けばできる。 電気泳動方式とは少し異なる粉体移動方式 かつグル 反射型 グル巻きまではいかない 0 れることが多 カラー 表示の弱点として て、 ル型を試 カラー が、

子ペー。 X n ている液晶とは異なるコレステリ 液晶方式でも、 モ IJ パー技術として注目されてい 性を持っており、 通常の テレビ 11 ったん表示をした やパ る。 ソコンに ツ ク ح 液 れ 晶 は、 が 電 わ

図表 1 マイクロカプセル電気泳動方式 (2色粒子使用) 「白」表示 「黒」表示



(数十号のカプセル内に白粒子・黒粒子を内包)

る。 下電器(現パナソニック) を○七年から売り出している。 通 モノクロ (富士通 このコレステリック液晶方式を用いて、 その表示を維持するのに電力を使わな 表示の電子書籍端末として発売例があ フロンテク) がカラー が○四年に発売をした の電子書籍端 富士 松 末

|想の電子ペーパー

る。 ば理想的なものになるか、という研究をしてい うことを分析して、 既存のディスプレーは駄目だったのだろうかとい 0) ディスプレーに対して、どうすれば読みやすいも ができるか、疲れにくい媒体ができるか、なぜ 目が疲れる、 では電子ペーパーはどうすれ 読みにくいといわ れてい た

非常に理想的にできているので、 と電子ペーパーを比較した図表2で再整理してみ ネット情報を扱うのには向いていない。 送らないと情報の伝達はできないので、 的に使われてきた。ただし、最大でも一枚の紙の 表裏にしか情報は表示できないし、紙を物理的に 電子ペーパー ほどいいものではない。 て効率面ではスペース的にも伝達効率的 は読みやすさ、 の狙いどころを紙とディスプレー 疲れにくさという点では 本や新聞に全面 例えばインター 紙は情報

にはあまり受け入れられていない。 来型 のディスプレーはそれに対して全く逆の 伝達 みにくく、 効率は非常に 疲れやすいので、 ので、 ただし、 ネット 本や新聞 スペ

> 報には向 いて

されているかを考えると、 とか考えやすいということはどういう要因で構成 なわなかった親和性、 望なので、それには従来ディスプレーでは紙にか て考えた方が良いと思ってい いということは別の重要課題として、 ということが非常に大きな課題になる。 紙並みとしたい。そのためにはどうしたらいいか 本や新聞に全面的に使ってほしいということが希 では、 電子ペーパーはどうしたいかといえば、 読みやすさ、疲れにくさを 私は二つ 読みやすい 要因に分け 疲れにく

う一つの重要な要素として、 うと考えている。 脳でやる思考作業を容易にしてくれるか、 ジの見せ方が読むとか考えるという、 である。どういうふうに見せるのか、例えばペー 程で人間にちゃんと適合性があるかどうかも重要 いものになるかというと、 トが紙並みになっていれば読みやすく、考えやす いと話にならない。ただし、 的に測定可能な要因で、これがちゃんとしていな 適合性が良いかどうか。 は快適性を伴うものかという高次要因があるだろ コントラストや濃度は足りているかという、物理 一つはわれわれの目に対する入力信号としての 解像度が足りているか、 多分そうではない。も 脳における理解の過 解像度やコントラス われわれの あるい

ある。 電子ペーパーを教科書に適 その もし、 前後の成績を比較してみたら、 ある学年から電子教科書を採用し 用したいという夢 電子教科 が

て、

要因だろう。 きちんと保証することが、 ないと危ない。 ケーションを開拓、 解過程のところが本当に大丈夫かを保証しておか とになってはとんでもないことなので、 書を使った学年から成績が二割悪かったというこ 脳での理解過程に対する適合性を 拡大するための非常に大きな 電子ペーパーのアプリ 脳での弱

べきだろう。それに関する実験をやっ の部分の、 ら、本当に物理的 紙とディスプレーとで理解度の差があるとした 原因の切り分けをきちんとやっておく な媒体の違いの部分と表示様式

読みやすさ、 適合性から考える

照や理解の上 クロール操作で巻物式に読むということを比 えることができる。 のようにページ構成が保証されている状態は、 下要因になり得ることが示されてい た結果として、スクロール表示は文章理解度の低 ージ式で読むことと、ディスプレーで一 ついて総括すると、 この実験の詳細は省略するが、 一の重要な手掛かりになっていると考 同じ文書を、 得られ 紙で一 る。 般的 た結 紙の文書 般的なス なペ 参

ど考えやすくなる。 すると強制的にページものになる。 と一㍍にもなるような巻物だが、それをプリント ルをプリントしたくなるのかと考えてみると、 ルはページ概念のないもので、 ここで実は思い当たる節がある。 ルにどう対応しようかとよく検討したいときな だからわれわれはプリント 長いとズルズル なぜ ややこしいメ 私 は ジメー メ

外の読み方についても、よく考えないといけな 特に教科書を作ろうというようなときには通読以 る。

ジ単位で読むことができる。

があれば、

示できるディスプレーがあればいい。

得られたように思っている。

たくなるのではないか。

うことがいえるが、

かと考えると、

図表 2

電子ペーパーの狙いどころ

| | 特質 | | 応用分野 | |
|------------------------|-------------|-------|-------------|---------|
| | 親和性 | 効率 | 本•新聞 | インターネット |
| | (読みやすさ・ | (スペー | | 情報 |
| | 疲れに(さ) | ス•伝達) | | |
| 紙 | 0 | Δ | 0 | Δ |
| ディスプ レ ー | \triangle | 0 | \triangle | 0 |
| 電子ペーパー | Ŏ | 0 | Ŏ | 0 |

とはどういうことなのかをよく考える必要があ てしまうのはやむを得ないことだろうと裏付け 読みやすさについて考えるとき、そもそも読む 今までのディスプレーの問題点としてはこうい 読むというのはそんなに単純なことではなく スクロールという操作をせずにペー 取りあえずページ全体を実寸表 では前向きにどうすればいい メールをついプリント そういうも が る。 要求事項があるので、 のを作っても読みやすいとは言ってもらえない か、焦らずに読めることが重要とか、必要とか、探しやすく見渡しの良い る。それぞれの場合により連続的に読めることが 間 が、 て、 繰り返し読 んだりしながら理解をし、 あるいは原稿を直すときには、 違い探しをしたり、 新聞は拾い読み、 小説を読 当然ではあるが、 探しやすく見渡しの良い方がいいと んだり、 む場合にはほぼ一方通 あっちを読 通読だけがうまくできるも 教科書で勉強をするときは 推敲したりする行為とな 、ろい 暗記をする。 ろな「読 んだりこっちを読 読むというの 近行で通 いろいろな

る、 間、 ることになるので、 同じ人でも、 だけ伸びたかを測る。 もに近点距離が次第に遠くなることはさておき、 っているのが近点距離というもの。 評価法は簡単であるが、それでは客観性に欠け ことが分かっている。 定以上近いものには目の焦点が合わない。 一方の疲労についても話しておきたい。 何か客観指標はないかということで最近、使 被験者に読書をさせて疲れ具合を答えさせる 何時間か読書をした後に近点距離がどれ 目が疲れてくると近点距離が伸びる 物理的な客観指標とすること 読書前に近点距離を測って 伸びが大きいほど疲 人間はある一 年とと れてい 長 時

> 離の伸びは見られなかった。 近い特性を期待できる。 結果が出ている。 ペーパーも紙並みに疲れなかったといううれし 電子ペーパーを使 書作業後 課した。これは結構過酷な試験 る)、ディスプレーでは近点距離が二割程度伸び 電子書籍を手持ちで読む作業の三条件を被 実際にディスプレー作業と紙の本を読む作業 かなり疲れたと分かる。 (一時間半置きぐらいに休憩を挟 疲労の面で電子ペーパー った場合は、 対照的 紙はとも そのような近点距 四時間半の読 かく、 紙および んでい は

は

読読だ が

実用化への道 書籍の場

が、 が百パーセント素晴らしいとは限らない。 満が解消できるといいなという期待があって、 屋に行っても欲しい本がすぐにはない。分厚い 常に満杯、何か買えば何か捨てざるを得ない。 なると書き賃は随分安い。電子書籍でこういう不 の必要な部分だけ欲しい。一方、 る。まず値段が高い、かさばるので自宅の本棚 あえて不満はないか考えてみると意外とあ よいよ応用の話。 私自身は紙の本が大好 自分が書く段に きだ 本

買っていたといわれている。 千台は売れたようだが、 使ったものを出した。当時は電子書籍元年かと言 盛り上がらなかった。 われたが、ほとんど一般には買われなかっ 〇四年にソニーがリブリエという電子書籍を出 同じく松下電器がシグマブックという液晶を ほとんどは業界筋の人が 残念ながら日本では

いっぱ を本の七割引き、 る用意をしたこと等々が背景にある。 える状態で用意をしたこと、 て十万点クラスの書籍のコンテンツを最初から買 る低価格 七年末にアマゾンがキンドル いあったからだと考えられる。 リブリエやシグマブックと大いに違っ 例えば三千円の本が千円で買え あるい 読者にとって魅力が を出 は コンテンツ 新聞も読 して、これ 8

調な売れ行きの理由といわれている。
世一に対するいろいろなメリットが受けたのが好度でダウンロードできる。携帯電話で音楽をダウンロードするような感覚で本を入手できる。ユー機能を持っていて、携帯の電波で、書籍を一分程機能を持っていて、携帯の電波で、書籍を一分程

をするサービスも始めた。
まついで、書籍も三十万タイトル以上を用意ものを出して、書籍も三十万タイトル以上を用意ものを出して、書籍も三十万タイトル以上を用意し、ソニーも負けじと新製品を次々と出してい

であろう。 ちになったとしても、 が百万台 台といわれている。 ところ進 ○九年の電子書籍の販売台数は全世 すると予想されており、 率のようである。 そのときの売り上げを考えると、 んでいる。 国の各社で約七十万台というの アマゾンが二百万台、ソニー その倍々ゲームが多少頭打 一五年には一億台に達する 一〇年はほぼ倍の八百 倍々ゲームで今 界で四 が大 百万 億

スの計算になると期待されている。り上げがまた一兆円に達する。合計二兆円ビジネ円で、端末があれば本を買ってくれ、その本の売台というのは端末を売るビジネスが売り上げ一兆

で、総合的には、活字離れとは言えない。レー上の活字を読む時間シェアは減っていないのェアは確実に減少傾向にある。ただし、ディスプェの上で印刷活字を読む時間の二十四時間中シ

結局、われわれは何を目指せばいいかという結局、われわれは何を目指せばいいかというなくて、強力な味方であると考えるべきだろう。なくて、強力な味方であると考えるべきだろう。なくて、強力な味方であると考えるべきだろう。なくったがの出版業あるいは新聞業の救い主に体を守るための出版業あるいは新聞業の救い主になるかもしれない。

を奪い合うと考えた方が適切ではないかと思う。けた優良コンテンツの戦いと考えて、二十四時間ャンクコンテンツ対新聞社や出版社で手間暇を掛けではないが)一般には何があるか分からないジと、(ネット上にひどい情報ばかりあるというわ結局、何と何の対立かを考えるべきかという

理想の電子新聞

刷をして、 木を切って、 システム 11 よいよ新聞の電子化という話。 は 非常 輸送エネルギー エネルギーを使って紙をすいて、 に資源とエネルギー を使って配達。 を使う。 在 0 新聞 日購 森の 钔 \mathcal{O}

クルである。紙にするが、多分トイレットペーパーというサ紙にするが、多分トイレットペーパーというサ読すると、もう古新聞になる。それをまた運ん

ゼコー』という経済紙は、 考えると、そう簡単にい ることがあって、話 市民記者とか、そういうものが付随 方がいいと思うが、電子新聞というと双方向とか ったサービスを○七年から始めている 海外ではいろいろ動きがあって、 最新の情報をもっと早く提供することができる。 電子新聞ははるかに早く情報伝送ができるので、 やバイクのスピードで進んでいるのが 一見いいことずくめだが、 をしておきたい。 ここで電子新聞についておさらいを 今の新聞 !の悲しいところとし が混乱しやすいので、 かない。 全国 電子ペー の フランスの そうはいっても 販 院店の 的に乗ってく して **図** 大態だが、 端末を使 切り分 存在を [表3)。 お

る (図表4)。 方向性は非常に良 常に薄く、 リ貧傾向。 双方向性に対する自由度はゼロ、 って、パソコンが扱えなくても読める。 してみると、 る新聞、パソコンで読ませる新聞である。 そういうことも踏まえて新聞には三 パソコンの パソコン新聞は利用場所の自由度は非 紙 紙の新聞、 の新聞は読める場所に自由度があ 知識がないと読 加 電子ペー 傾向に 動向としてはジ あ パーで読ませ 種 めない。 ただし、 類 比較 あ ŋ 双

、例えばキンドルやアイパッドを使って読むこ電子ペーパーもパソコン新聞と同じかという

トになる部

分もあるが、

デメリ

ッ

Ħ

Les Echos

"lliad"

(IRex)

立

分があ

る。

電子ペ

]

パ

1

0

新

聞ではその トとしても

欠点は直

たい

1

]

面を再

しない

たらどう

いう

形になるかというと、 新聞が巨大な紙

H 現

刊雑誌

同

ばいは は 7 とを考えると利 いかなり 近 P という意味で) キンド 'n 特性を持ち得 違うも ル いことはな ルやアイ 電子ペ ので、 用 誰 パッ 場 でも読 所 電子 1 ド は これも増 パ 0 自 ぺ 1 め 方が誰にでも 由 新聞 1 る。 で、 パ とパ 双方向: 加] 新聞 傾向と予想し ソコ ソコン新 は紙 性は 使 ン 11 やれ やす 新 聞 聞

るが

は

り 一

面

は目

13

今の

新聞は

面

から普通

ような形になることが

0

0)

解

だ電車 うと思っている。 ない。 という点 コンが苦手なおじ その .様に万人にとっての存在価値が非常に高 たというように、 だけになっても 誰 三つの新聞 の中で読めるかというとパ ※を保証 でも読める、 できる電子ペーパ いさんは新聞が読めなくなりま 11 のうち将 新聞難 11 込んだ電車 だろうかと考えると、 民 来、 が出 例 えば 1 ソコンでは読 0) てしまう。 新聞 中でも読め ソコ は、 込 パ ン 紙 ん る ソ 新 8 う

か 0 パ

ではない。 大きい紙面も ダムに並 姿にすべきかどうかということを考えるとそう ただし、電子ペ 目 次 してい がちゃ 今の んで 11 る、 いるのも 11 新聞にはいろいろ不満があって、 んとしてない。 1 が、 入り組 パ] 大き過ぎて邪魔だとか、 61 61 新 んだレ 聞は今の が、 関連記事が他ペ 記事が探しにく イアウ 紙 0) 新聞と ト等メ 1) 1 ラ

図表 3

仏経済紙『レゼコー』、電子へーハー新聞を

ン

は、 事な記事は 程度入って お手本になるの ソコン上で ージにジャンプして、 電子版とい いうもの は そこから芋づる式にジャ か いる。 が電子新聞 大きな文字になっていて、 ってい 『サン は 見出しにタッチすると各記事、 電車 る ケ イ新聞』 b の理想型だろうと思う。 のつり広告かなと思う。 もっと深い記事を見るに は、 ンプをしていく。 とか 私 0 考える理想型 日経 新聞

なり 発行 (2007年9月) 遠 (企業などの管理職向けに15万部発行)

『レゼコー』 = フランス最大の経済紙

無線LAN機能内蔵。レゼコー社サイトから44 ページの紙面を随時LAN経由ダウンロード。 紙新聞の年間購読料400平(約60,400円)、

ネット版の年間購読料365 円(約55,115円), 購読者数4万人。

電子ペーパー購読料はネット版に準じた価格

次にすべきであって、 紀に記事 かなと私 写真もあ が入って は考えて ح 番 る 大 今 11 が、 であ と思う。 歓 で、 てしまうかということと、 -寄りの 困るかもしれな 迎 電子 今より購読料が安く、 る。 私もそうだ ^° 発行 唯 1 方でも使える、 18 心配 側も経営が改善できるも] 紙 新聞 の新聞 が、 なの 0 喜 は、 理 んで乗り が大好 電車の 想は、 今の 読者も料 紙 0)

金

や利

便性 るも

れ 7

0)

が

理

想型

きと り換えら

61

9

いる人

中 パ

-でも読 ソ

ること

コンと

違

つ

(通プラットホ Ī 厶 の

メ 販

力

はさす

浣店

はどうな

編集機能と発 新聞社はどうす 行、 れば 配布機 11 4 能 か。 が あると思 新聞 社 には

取

図表 4

3種類の新聞

| 比較項目 媒体別の新聞 | | 利用場所 の自由度 | 購読の容 易性 (誰でも読 めるか?) | 双方性 等の自 由度 | 動向予想 |
|----------------|-----------|--------------|------------------------------|------------------|-------|
| 紙新聞 | | 0 | 0 | × | ▼減少傾向 |
| 電子媒体 | 電子ペーパー 新聞 | 0 | 0 | Δ | ▲増加傾向 |
| | パソコン新聞 | × | × | 0 | ▲増加傾向 |

電子ペーパー新聞は意外に紙新聞に近い性格!

か。 材、編集はするが、発行、配布はやめてネット配あるいは電子配信新聞を新たに発行するか、取 信企業に配信を任せるか、 任せるという解がおのおのあって、2×2の組み のもないから、 てしまい、 合わせを考えると、 ると思う。 取材、 配布については自前にするか、 集につ 残るのは紙で発行を継続するか、 編集をしなくて配布だけという どっちも放棄だと廃業になっ いて自前でやるの 大きく三つの選択肢が かやめるの 誰かに

聞 子ペーパー新聞もちゃんと出して、 という不幸な状況になってしまう。 だん減っていって、 を頑固に続けるとすれば、 想だろうと思っている。 て廃刊。そうすると世の中はネット業者のパソコ ん電子ペ ン新聞だけになって、 !が共存して新聞難民は発生しない。この方が理 新聞業界は今後どうなる そのときにはパソコン新聞と電子ペーパー新 ーパー版にシフトしていく選択肢もあ あるところで経営限界に達し 年寄りには新聞が読めない どうしても読者はだん か。 紙新 紙からだんだ 新聞社には電 聞 の発行継

は、まず現在の巨大紙面サイズを再現すること。 かくだから双方向性を持たせたいというのは別 が高いのでこれにはこだわらない方がいい。せ 命題なので、 電子ペーパーで狙わない 面レイアウトをそのまま使うこともやめ これをやりたいときはパソコンに り曲げ、 丸めるは技術的にハード 方がい いと思うこと

せた方が

0)

き、 パーの仲間と考えていいかなと思う。 楽になると考えている。 古新聞の山はなくなり、 カバンが軽くなり、 ラットホームになることができれば、 ことだろうと思っている。 ディスプレーとしてなかなかよくできている。 れは反射型でもメモリー型でもないが、 会誌も読めるという、 一つ持っていると本が読める、 電子ペーパーの理想というのは、 最近の話題としてはアイパッドが出てきて、 自宅や職場の本棚はすっきりし、 読みたいものが即座に入手で 共通プラットホームに育つ 出版社、 電子ペーパーが共通プ 新聞が読める、 新聞社の経営は 電子ペーパ われわれの 取りあえず 本を読め 電子ペー 学 ح 1 る

矛盾、 紙や印刷とで分担を上手にする時代を迎えつつあ べきだとは私は全く考えていないが、 だけ情報が多くなった世の中ではいろいろ無理、 返ったときの最大の発明といわれているが、これ ると考えている。 グーテンベルクの活版印刷術はここ千年を振り 無駄も伴う現状にある。 印刷や紙をなくす 電子媒体と

講演 後の質疑応答

あるが、 どうお考えか。 アメリカでは現 ニーを中心とする日本の電子書籍は不振で、 Q 大変読みやすい感じがした。 ソニーの電子書籍、 在隆盛を極めている。 リブレを見たことが しかし、ソ その理 由 方

> を買っ 万タイトルを用意している。 かっただろうと思う。 大抵の本は読めるという 読めないという状態と、 たかどうか。この端末を持っていても大抵の本は マブックで読めた本はおのおの一万タイトルあっ てソニーのリブリエとか、当時の松下電器のシグ 大抵の本が読める状況と理解できる。 ーにある本の種類が二十万タイトルというから、 ル。当初で十万タイトル、 か、 Α たとき、書店にあるような本が全部 読めない 由 は かなり明確だと思って 0) か。 例えばアマゾンの この端 状態、 現状で四十万から六十 八重洲ブックセンタ その差が一番大き 末を持ってい それに対し キンド れば

う。 と感じられる部分が少なかった点が大き 分の一で読める状況を提供したが、 一、二割引き程度で、ユーザーにとってメ あとは本の値段。キンドル は 本の半値 IJ グリエ ないし三 いと思 IJ ット

トの関心は、 その辺の見通しをお聞きしたい。 ぐらいになると複雑な端末をいじるのは難しい。 ってくるのは何年ぐらい先の話なのか。 Q ħ 電子ペーパーが情報伝達の われの年代、 保守的なジャ 主流にな 私の年代 1 ナリ

うに扱っていくのか。 いは広告だが、電子ペーパーは広告をどういうふ きょうは触れていないが、 新聞収入の半分ぐら

になるのはデジタルカメラと銀鉛 未来予測は非常に難し 11 カメラの 話だが、 主役交 お手本

聞と同じような感覚

が起こ 初の伸びは非常に鈍かったが、あるところですご 勢いで逆転に達した。 起こったと思う。その時もデジタルカメラの最 デジカメ登場から十年から二十年弱で交代

維持できるビジネスになると思う。それをやらな というのはだいぶ安全サイドで言っての話。 的には十年以内でシェア逆転が起きてほしい。 れる残念な状況が目に付くが、電子化がうまくい く十年ぐらいで交代が起こるかなと思っている。 たてば交代が終わっているだろうけれど、二十年 交代が起こると予想している。 いる。そういう意味では早い方がいいから、希望 印刷物で本を読むということは、 と出版文化そのものが危ないように私は考えて い雑誌が休刊になり、 そうしないと出版社が持たない。 電子書籍として電子端末で本を読むことと、 出版社の経営は今ほどの部数が出なくても 非常にいい出版社がつぶ 間違いなく二十年 私は必ず主役 今でも非常に 紙

て、 料金体系にすることで、 て、広告ページを交ぜればいいと思う。 の一が広告というレイアウトまでする必要はなく 広告は折り込み広告も含めて多分電子化ができ 電子配信新聞に広告ページを載せることが考 それは今の新聞紙面のように、下四分 広告なしだったら千円というような チラシ代用の広告付きの購読料 広告付きの方に誘導がで あり得る

H 本の に電子ペ 1 パ 1 が 伸び な 理 由 は 漢

Α

教科書としてどうか。

教科書に使ってみ

わ

り早く適応していくか 字文化が邪魔をしていると思うが、 中 国 は H 本よ

る。 べると、 る。 にとって小説というの わったら、捨てて帰るのが普通だと聞く。 でかく、バカンスに何冊も持っていって、 対する見方や価値観が違うのかなということはあ しては同じ漢字文化圏でも中国の方が進んでい 売っているが、日本はほぼゼロに近い。これに関 Α アメリカと日本の状況を考えたときには、 米国の小説は非常に紙質が低くてずうたいは 漢字だから駄目だということはないと思う。 中国の電子書籍端末メーカーは七十万台 同じ漢字文化圏で中 は、 われわれにとっての 一国と日 本の 状況を比 米国人 読み終 本に 新

だわりはないので、持って歩く重さや、 れない。 は、それが足を引っ張る要因になっているかもし だとは言わないが、 在に対する崇拝心が強いのかなと思う。悪いこと 間が省けて済む電子書籍に抵抗感が少ないだろう。 どうも世界中で日本人が一番、本の物理的な存 そういう文化だと本という物理媒体にあまりこ 電子書籍の発展普及に関して 捨てる手

使い勝手はどうか聞 くなかったらしい。 あったと聞いている。 出て行くことはあると思うが、 Q 教科書のマーケットにこういった媒体が 学生たちのサーベイをして てみたら、 過去にリサーチが あまり 反応は良

> が出るとしたら、 比較したときに、何もメリットがない。 読むことと、電子書籍で同じ教科書を読 育現場では何もメリットがない。 評判はよくなかった。教室の場において紙の本を る簡単な実験の見学をしたことがある カバンが軽くなるぐらい メリット むことを

では電子教科書の方の成績は、 段があると思っている。 能をプラスアルファすべきだろう。 電子教科書に将来はないかというと、 点数が落ちたということは十分あり得 電子書籍を教科書に全面採用した学年から二割 上がるわけがない。 電子版にしかできない機 全く紙のまね事をするの 下がることこそあ 別の手 では、

割いいというようなことはあると思う。 少なくともヒアリング、スピーキングの ら簡単にできる。電子版でこそできるプラスアル を作る。 教科書を使った学年から成績が二割良くなった、 ファの機能を乗せることによって、 本には絶対できないことで、 か、単語単位で発音してくれるとか。 例えば英語の教科書で読み上げ機 ボタンを押すと全体を読んでくれると 電子書籍端末だった 電子版の英語 能 0) 成 あ るも は 0

を入れた方がいいと思う。 か、全面カラーにするとか、 画を載せるとかアニメーションを はあるので、 少しずつでも付加機能 紙ではできないこと 載 せ ると

本稿は五月一 れた講演の 一十一日、 部を要約した 通信社ライブラリー で

噴出する内外メディアの問題点

関係新刊書から見る現在の危機状

稲田

大学政治経済学術院教授)

スクールの誕生

世に送り出した。 数えた。 年々増加し、三年度目のこの四月には五十九人を メディアに就職することができた。また入学者は 発足させた。 スクール・オ 究科では、 現 在の動 博士課程も今春から発足し、三人が入学 二年前 既にこの三月には第 ブ・ジャーナリズム 務先の早 十六人の入学者のうち、半数が の二〇〇八年四 稲田· 大学大学院政治学研 月に日 一回の卒業生を 本最初の

持つ卒業生を求める時代が来れば、 がなくなってきた。 地方支局 クールが しJスクール卒業と同時に記事が書ける即戦力を の活字メディアにはじっくりと社内で新入記者を 全体の中でしっかりとした基盤を築きつつあるか J コ l ・スはこ 歓迎される時代になったといえるかもし や記者クラブにおいて教育する経営余力 ́у リ デジタルメディアの急伸の現今、 カ型の時代が到来したので、 0) 政治学研究科のみならず、 アメリカのように、 いや既に日本 大学ない Jス 日本

しかし、発足当事者の一人としては、Jスクー

かりの時である。

寂しい『Wポスト』のスタンド

訪ねる。 る。 感していたのはつい十年前のことである。 うな最新工場の威容を見て、 読み、散歩するコースに同紙の繁栄を示すかのよ ることにしている。 ポスト』に宅配で接し、 国立公文書館とメリーランド大学プランゲ文庫を ア 私は毎年のようにワシントン郊外のアメリカ メリカの新聞の衰退は目を覆うばかりであ 長期滞在するときには、 同紙の深みのある調査報道を ジャーナリズム状況を知 同紙の隆盛ぶりを実 『ワシントン・

るように毎朝配布しているのは、近年の日常光景タブロイドのフリーペーパー二紙が乗客に競争すに耳にした。ダウンタウンの地下鉄の入り口で、ところが、その工場が売却されることを二年前

だで入手できる。 ポーツも、 るようだ。 告収入減を覚悟の上でフリーペーパーを出 ト』自身が発行したものである。 であるが、 の全国紙らし そのうちの一 娯楽記事も基本的なものが電車内でた 二つのタブロイドを読めば、 ライ バ 紙は ルの新聞は 『ワシントン・ フリー の販 政治もス してい ペーパ ポ 広

間に、 だが、読み捨てられた二紙が地下鉄 購読されなくなったと言ってよかろう。 地下鉄入り口で友人を待っている二十 は宅配で、 テレビガイドを付けた日曜版だけとなっ のスタンドで寂しく残っている。 入らなかった『ワシントン・ポスト』本紙 いう間になくなっていた。 た。ところが、平積みのフリーペーパ を買う乗客を数えたところ、十人し ン・ポスト』本紙がほとんどない。 ている。その中にはかつては目立っ 確かにインターネット 『ワシントン・ポスト』 しかも惰性的に同紙に接する人にし ・のニュ 以前は朝を逃すと手に のスタンド ースよりも手ごろ 売り切れるの たまたまある た 周 1 か 分ば 辺に散乱し 『ワシント いな は がタ方 はあっと で新 かり 同 か か

新聞は消えるのか

かったのは、 権侵害とかを扱った本は少なく、 ーバ 書棚 問題を論じたものが目立つ。 ア特に新聞が衰退し、 を見ると、 アレックス・S・ ケネディ 論説の 偏 消滅するといったたぐい スクー 向とか記事の捏造、 ル ジョーンズという その中で一 に所属するメデ 最近は活字メデ 番面白

版)である。 ズムは生き残れるか』(古賀林幸訳、朝日新聞出ィア研究者が書いた『新聞が消える~ジャーナリ

ゴ・トリビューン』に比べるとまだマシである。位の『ロサンゼルス・タイムズ』や六位の『シカの経営破綻で大幅人員削減を行った部数で全米匹 聞を指すのだろうが、それに該当するのは の経営破綻で大幅人員削減を行った部数で全米四社の株価が63%下落したとある。それでも親会社 経営好転を示す新聞はどこにもない。 ティモア・サン』など四紙である。部数増加など 破綻とあるのは、 部で全米五位、 紙の現況 テン・ニュース』が出ている。 ン・ポスト』に目をやると、 この地図には廃刊となった『ロッキー・マウン とある。 を簡潔にまとめている。まず 冒 頭にアメリカ地 二〇〇八年に編集部で百人以 本文には〇八年の経済危機で、 辛うじて発行を継続している新 辺を載 発行部数は 廃刊ではなく経営 せ、 有力二十八 『ワシント 五十八万 『ボル 上を 同

紙面 ŋ 版を含めたその それどころか、 イクル可能で、 、増加している。 発行部数は次第に減少してきたが、 著者は最後にいう。「皮肉にも、紙の新 熟練したプロ なはだしく過小評価されている。 と流し読みするの と速く、 場合によっては数千 安価な、 『読者総数』 新聞は、 のスタッフが、 率的 洗練された高度な技術と 持ち運びができ、 である。 は多くの新聞でかな は、 数百時間の オンラインで読 -時間 そし オンライン もの 新聞の こて新 聞 リサ 全体 聞

点で、驚くほどお買い得な商品である」え、掲載するために練り上げた末の産物だというと考える情報を取材し、編集し、レイアウトを考労力をつぎ込み、読者にとって最大の価値がある

嘆いている。新聞社に属さない、 内で広げれば、 感をにじませている。 するNPO的な市民ジャー 通信社をつくり、既存の新聞に有料で記事を提供 な取材費が経営危機で捻出できなくなったことを が新聞を救う」と言いながらも、 トナム機密文書)、『ワシントン・ポスト』のウォ で便利なメディアはなかろう。 帯に習熟した若者にとっても、 ーターゲート事件の調査報道のような「い ーク・タイムズ』のペンタゴン・ペーパーズ(ベ 著者は私と同じ活字人間である。 情報はやや遅いが、 ナリズムの台頭 著者は『ニューヨ 新聞ほど安上がり そのために必要 調査報道 パソコンや携 なるほど電 い記事 ぶに期待 のみの 重

日本の新聞の経営危機

が、 て、 脱却した。 落である。 の発展に伴 ていた。 新聞社であるといわれてきたし、 ニュースは○八年九月期の 金を使って 何 日本の新聞界も例外ではない。 知識 でもアメリカに一歩遅れて進む日本である 同 人読者を引き付け、 その際、 同紙は経営面でも日本を代表する優良 紙は日露戦争時に戦況報道に多額の資 う広告収入の急増で経営危機を素早く 度赤字となったが、 第 面全面を出版広告に充て 『朝日新聞』の赤字転 経営を好転させた。 私もそう判断し 戦後の日 その象徴的な 1本経済

> がり、 が二十一世 たテレビ朝日は、それ故に株式市場 に同紙の株式を同紙オー 不況が同紙の経営基盤を揺るがせた。 固定読者の全国 百年間、 株価低迷に陥った。 「紀に入った途端、 の経営を安定させてきた。 的広がりと出版広告収 ナーの 経済特に出版 村山家から入手し での 赤字転落時 入がその 評 の構造 価 が下

もと同じ 営を支えていると言って過言ではない。 は出版広告しか残らなかった。 してきた。テレビの台頭で一九六○年代に新聞に は明治以来、売薬、化粧品、 出版不況の打撃は小さい。 無きに等しい。 ク・タイムズ』も○九年に赤字を計上した。 先の 紙も『ワシントン・ポスト』も出版 『新聞が消える』によれば、 だから、 アメリカの ところが、 出版を三 出版広告が新聞 新聞に ニュ 日本の 一大広告主と 版広告は に対する 1 新聞 日

からの を誇っていた同紙であるが、 勢を強めているらしい。 に『朝日新聞』はディスカウントで広告出 実施したため、 店は人件費と広告費の削減でいち早くリストラを 不況は深刻である。 ートは他紙を圧していた。ところが、 特に 出稿削 『朝日新聞』では書籍、 減で前途は厳 何とか赤字基調を脱した。 聞けば、 かつて定価 その 硬派出版社の岩波 雑誌の広告 メー 最通り 今回 の収入 間稿の攻 その社 の出 出 0) 版社 ウ 版エ

日新聞』の歴史から学ぶ

>年代メディア史』(昭和堂)はこの『朝日新聞』吉田則昭『戦時統制とジャーナリズム~194

同

『紙の論

での地位向上と維持に大きな役割を演

谷川如是閑 を集めた。

のように、

笠は戦後の論説主幹として

を継承

するものとして、

多くの知識人読者の支持

た

同紙の大正デモクラシー期を担った長

米ソとの

全面講和を主張する論陣を張った。こう

張は同紙の大正デモクラシーの伝統

した明確

な主

た。 欧 ズムによってにらまれ、 理を持っていたという。 制 用しようとして村山社長ににらまれ、 経営の分離」という笠理論を同紙の社内改革に応 れ日 されると同時に、 几 説主幹であった緒方竹虎にその学識を買われて論 主幹となる。彼 つ 説委員として入社した。 ようとした労作である。 州特派 「新聞」 や国 に社会主義的イデオロギーをかぎ取ったファシ 〇年に著 笠は 和期 究所にいた笠は 彼を海外に送り出した緒方竹虎は「資本と 家の合理的な改造を目指す革新官僚に支持 の論客として同紙の地位を高めたが、そ 一九四八年に帰国し、 員となって、 を担った笠信太郎 た『日本経済の再編成』 は吉田首相の単独講和に反対し、 ファシズム勢力に利用される論 戦中日本を離れることとな 吉田によれば、 彼は亡命するかのように 彼は入社後間もなく の思想と行 すぐに同 当時 政界に転じ は経済新体 大原社会間 笠が一九 の同 を論 紙の論説 .紙 証 『朝 論

内閣の・ 安保改定に反対し、 後の論説記者 九六〇年の安保改定期であった。岸 の革新性には限界があり、 ともいわれている。 強行採決を無効とする それを表

定、

起草したのが笠であった。 くらいであった。 十年安保~メディアにあらわれたイメージ闘争』 共同宣言を出したが、 しなかったのは、 全国で四十八紙にもなった。 京七社が の一九六〇年六月十六日に、 全学連を中心とした運 (勁草書房) 「暴力を排し によれば、この宣言を掲載したのは 『愛媛新聞』と 七社をまとめ、 動が流 /議会主義を守 最近出た大井浩一『六 地 血 朝日 方の 事件を生 『北海道 有力紙で掲載 新 その文章を 聞 れ」という 元だ直 など在 新聞 後

導するのが る。 時や危機的状況なると権力協調にメディア界を先 も見られること、 す結論は、 家に同調するが、それが戦中だけでなく、 この二つの歴史分析 国家が危機に陥ると、 『朝日新聞 平時には権力批判を示す の新刊 であるということであ 書 か 日本の 5 私が 新聞は国 平時に が、 引き出 戦

聞 が生き残るための呪文

0 ているし、 せて 新聞』は ポスト』でさえも経営危機に陥っている。 刊になったというニュースはまだ飛び込んでこな 批判の調査報道を断固貫き、 『ニューヨーク・タイムズ』や『ワシントン・ 大統領に抗議され、圧迫を受けながらも、 予 H いるとも 本の 困 赤字とはなったが、 その他の新聞が経営破綻したとか、 首相が毎年のように変わる政界の不安 難性がメディア情 いえる。 沢 読者に支持されてき 無借金経営を維持し 郎 報 に対 の需要を継続さ し新聞協会は 朝 権力 廃 H

> 資本の民間放送への進出を許す電波法など政 された事業税、 家が防いでくれない。 アを根幹から揺るがせるデジタル なっているのかもしれない。 らのさまざまの優遇措置が、 感謝状を贈るべきだ、との皮肉も言 本の 争原理 休刊日 が排除された保護規定 吉田 商法特例法等 律慣行、 |則昭 が著書で述べているよう しか 定価同 経営危機 々)、 化 さらには 時値上、 0) (再販 波までは たくなる。 既存メディ の防波堤と 売 新聞 府か 専

である。 後にアメリカを追うとすれば、 が倒れ、 分からないという。 全破壊をもたらそうとするグーグルとて、 者を今後失っていく。 春秋)も、 るとの警告である。 る。新聞だけでなく、 メリカの (文春新書) グル秘録~完全なる破壊』 々木俊尚 その年は日本では完全地デジ化の 多くの街から伝統ある地方紙 「新聞消滅元年」となった。 雑誌、 によると、二〇〇八年は多く 2 0 1 新聞だけでなく、 さらにケン・オーレッタ こうした伝統 テレビも同じように消 年 新 (土方奈美訳、 聞 テレ ルメディ テレビも視聴 日本も三年 が消えたア ビ 年 アに完 年であ -がそれ あすは 消 0) 文藝 滅す 新聞

ずがな がわずか二十 れないようにと神頼みし、 人間の私は、 デジタル革命の何たるかも分からな との 六百年も続いた活字メディアの時代 呪文を現在唱えるだけである。 年ほどの デジタル J コ l 化の波に スもそうなるは いア (n) み込ま ナロ グ

仏 ル モン 国際的· ド な合従連衡の 玉 メデ 1 ア支 配 下に

を見せて 口 j, 現 パ 日 在も、 新 1 聞界は常に国際的な合従 ロッ 1ッパ・メディアの多様な相談のかの事例が並 連 衡 0 世 貌き行

ユ

もらう目的で生み出された。 ットワーク」の形成がある。 セスする人々に、自分たちのメディ その一つに「ヨーロッパ・ 『シュピーゲル』によると、 は、 英語を使ってウェブメディアにアク ジャー ドイツのニュース週 この国際的メデ アになじんで ナリズム・ネ

ことで、 組 ナーシッ ウェ ガー をモデルにしたもので、 ブ版 メンバーのナショナルアイデンティティ プは航空機のエアライン・アライアンス させることを目的としている」と述べて 対話を支えるプラットホームを構築する ディッツ編集長は 『シュピーゲル・オンライン』の 本格的な汎 「この新しいパート コーロ リュ ッ

『NRCハンデルスブラット』 アの英語ネットワー 二〇〇八年に 広くヨーロッパにまたがる民間メデ 『シュピー クを形成する青写真を描 ゲル』とオランダの が最初にパ ・トナ

> ークの ーロッパ全土のオピニオンメー 会選挙をメンバーが共同して取材活動を行 ズムプロジェクトを作成した。 オンラインチャットなどを含む多くのジャーナリ ー記事を掲載したりした。 それ 『ポリティケン』が参加 ○九年にはデンマ カー ヨーロッパ議 へのインタビ 合同 .報道 日

> > イ

拡大していく可能性が見られるという。 ーとしてイタリア最大の高級紙『コリエー ラ・セラ』が参加する予定で、 そして一〇年四月末の時点では、 今後さらに規模を 第四 0) ンメンバ ・レ・デ

いる。 コ、 では世界各国で『メトロ』の共通名で日刊フリ リーペーパー ットリーダーになっている。 うしてヨ 彐 ペーパーを発行している「メト ガー」はポーランドで『ファクト』を、 スイスで『ブリック』を発行し、 リンガー」はドイツで『ビルト』、「リンギア」は ぞれの母国で最有力の大衆紙、すなわち「シュプ 諸国への進出を始めた。 リンガー」とスイスの支配的メディアグループ 「リンギア」 ナル」 ドイツ最大の新聞グループ「アクセル・シュプ スロバキアの各国で類似の はセルビア、ルーマニア、 「リンギア」はさらに、] と、『メト ロッ は今年三月から一体となって、 『24Sata』を発行、 パ の主要で <u>.</u> Ц を共同発行している。 両グループは共に、それ 一カ国の支配的 その上「シュプリン セルビアで日刊フ ハンガリー、チェ <u>-</u> 大衆紙を発行して 新聞界のマーケ インターナシ ハンガリー メディア 「リンギ 東欧 ĺ

> グルー 共に東欧世界に浸透して

四月中 紙『ルモンド』の最大株主となる見通 失うことになるという。 きた編集者組合が初めて ている。この結果、 ルモンド』で、 アグループ「プリサ」がフランスの フランスの経済 句の報道によると、 現在まで同 専門紙 資金的 トリ 『ルモンド』 スペインの最大級 な苦境に陥 . 紙 の ビュ 支配] 能権を握 の支配 世界的高級 っている が高まっ って ジメデ

ヤー 吐を必要としているという。 配し、これまで『ルモンド』 してきた。『ルモンド』 スペイン最大の日刊紙 て同紙の60%の株を支配してきた。 ルモンド 投資を可能にするために、 ナリストを擁し、 の編集者組 内部株主グル 『エル・パイス』 は現在までの 合は約二 の株の15%強を所 少なくとも五千万 百六十 プリ ープと合わ 負 ほ 債を支払 いかを支 人 0)

べている。 少数グループに後退する結果になるだろう」と述 する緊急な必要性 ディアの めての経営構造の重大な変化とともに、 って投票を行う予定だが、監査役は 一方、株主グループは六月末に構造改革 支配下に置かれることになる。 こうして から見て、 『ルモンド』 歴史ある役員組織も は、 「資本を増 創刊以· 国 を めぐ 一 の メ 来初

ない 0) ロッパのメディ であろう。 ア世界が流動を止 めること

は

広 瀬 英彦= 東洋大学名誉教授

同盟、「言論不安時代」に船

一通信社記者の「昭和」~その軌跡を手紙と日記に見る(Ⅲ

日

新聞社代表取締役・専務、

大阪本社代表)

聯合併が難航した理由

第十二十分では、 「では、の中から、その理由を要約する。 「電通」『聯合』合併の裏面~対外ニュース統制 「登」の中から、その理由を要約する。 できいた。 では、 でいたのか。父・内海朝次郎

との連絡交渉に岩永及び古野伊之助 と約束した岩永 前言を取 二百万円で 者は新通 ある。重光次官は支那向きで気が長い。その上両 も中外商業社長に去った。「新情報部長天羽は外 部長が転任、 実現しそうにないばかりか、反対に 社長が八年十二月、 して」各省との協力を喜ばず、社長の座も狙った。 交辞令と生きた実務の区別のつかぬ優柔不断家で 第一に外務省の体制が変わった。 が り消 信社出現の功労を外務省で独占しようと 電 て、外務省、逓信省、或いは放送協会『〔東京〕日々』の高石〔真五郎〕ら あっせんの衝 度は貴族院議員の勅選を条件として した。 通 『電通』 〔裕吉・聯合専務理事〕 「光永としては内田康哉外相 勅選にはなったが、 売却を承諾した光永星郎電通 には一 に当たった田中都吉氏 向内容を知らせな 白鳥敏夫情報 『朝日』の緒 (聯合総支配 の引退が 土壇場で

社員動揺を理由として駄々をこねた」。
だめの道具であると反対の烽火を挙げさせたり、額せよ、合併は中央有力紙が地方紙の蚕食をする「〔それからの光永は、売却代を〕四百万円に増かった。彼は(中略)その存在を没却された」。

第三に、出資者になるはずの放送協会が、

過

た、 事情として「犬養内閣の金輸出再禁止は円 は臨時費増を外務省の補助でも賄えなかった。 に満州事変以来、日本のニュースは激増し、聯合 なり、海外電報料も莫大に嵩んでいた」。その上 落となり、 に合流する覚悟を持ってい」た。さらに聯合側の 社経営に私財をつぎ込んできた岩永専務理事は、 去の新聞不信から将来を憂えだした」。 通信に対する熱意と野心があり、 こう着局面を変えた力は賛成派「大新聞」の 一方の聯合は、「双手を挙げて賛成した」。 岩永氏は自分に対する新聞界の信用を背景 合併後の ロイテルとの通信契約がポンド払いと 「聯合の勝利」 を疑わなかった。 何時でも国 1価の暴 通信 ま 策 働

鱗にふれては、 信省の 味を軟かく伝えさして反省を求めた」と父は記す。 よう」 きは緒方――古野両氏の連係プレーだろう。 られている」と冷厳に書いている。 ない」「結局、 木精一政務次官を光永社長の下に送り、 相を説い 上記の通信特権を、 「電信電話の特権も一 対外放送ニュースの権利も 力で (『古野伊之助』)。 電電 板挟み状態の逓相は元電通社員 強行的に合併が実現するも 新聞事業殊に通信事業は成りたた 通 を 古野氏は 圧 Ë 父も、 切 迫して貰おう」とな の緒方氏らは床次逓 『聯合』にだけ 「切り札」と言 『聯合』に与え 大新聞 度逓信省の逆 「この意 のと見 側 の青 0)

「戦々兢々たる言論不安時代」の認識

翌十 ようとするものであり、 体に検閲による伏せ字が登場する 社の合併は かり通る事例を列挙している。 れた状況をいちべつし、 1 <u>۱</u> ところで電聯合併問題をテーマにした父のリ の強化である」ととらえている。 一年、 評論は、当時の日本の言論と新聞界が置 軍機保護法による弾圧で停刊になった)。 「国民に非常時意識の清一色を作らせ ○○ (注・伏せ字、 言論統制と軍の圧力がま 何よりも、 (『社会評論』は この文章自 両通信

州事件以来加重し、 ども言論に対する○○ この統制案に一 自 由 主 義華やかなりし 顧もくれなかっ 五. (注・軍部か) 五事件以後の社会不安 頃る の新聞を たであろう。 なら の圧力が満 ば、 け 勿論 n

がかりで運動しながら、

き掛けであった。「大新聞の幹部が一致して何年

目にかか

?わる。

中略

電信電話の権

力を持

つ逓

実現しないとあっては面

富山 た。

0)

市 街

地演習に名を藉

|夜間上空を飛翔する〇〇||習に名を藉って〇〇〇で

0

種

々

相

は、

標に新聞

たてき

大阪

以朝日

在 ずその

軍

人の É

ボ

イコ

ットにおびえ、 が数えられ

包

囲され

た。 新聞

福 は は 必

岡日

々は

きかけられた所謂都下大新聞が軍部を背景とする旗の下に勇敢に降伏した。だから、外務省から働 言論 きの び 朝 とする流 9 にして取消文を掲載し)爆音に威 H 社説 不安時代である。 最後まで自由 他 言蜚語は枚挙に遑がな訂正の社告を出した。 に遅 嚇されたし、 れじと何時ともなしに国粋主義 は枚挙に遑がなく、 主義の こんな客観的情勢の た。 信濃毎日は社説記者をく 旗を死守して 大阪毎 その 戦々兢々たる戦々競々たる Ħ でも いた東京 中に在 一段抜 0



飛行機に搭乗した逓信省記者クラブ員。左から5人目が 内海朝次郎(昭和10年初春)

け

通 信 統制 案に賛成したのは 6勿論 である

危惧もあの反対理力 を背 信社 考えが流れ込んだ構想である。 対外宣伝力の の側面」 自 い設立 「通信自主権の確立」 いもあったのに、 景とする通 身が奔走 を認識していたようだ。 由 には単 を している電聯合併による国家代表诵 一元強化」 信統制_ 対外ニュ そこへの言及と評価 通信社化=ニュ という国 という通 と見る冷徹] -ス統制 父は内包する「負 しかし、 信人の ース統制 策 0) な目 途 は 理想と、 がの 電通側 -異質な な 軍 0 ヹ 部

0

設立認可直前に床次逓相が急逝

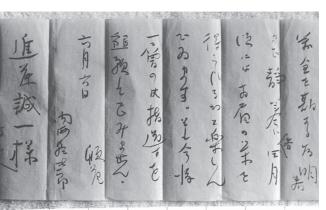
明晰の好青年」と持ち上げている。泉の先輩巡礼』に序文を寄せ、「き方をしている。床次氏もまた、 と題する評論 病気がちであった。 いた床次氏だが、父は、「床次逓相を迎えて」 父 暮れたこの時期を十年後に振り返った。 人の手紙 (前号) に見えるように、 (『交通経済』) 総理就任を夢見て政党を渡 では好感を持 . る。 「直情径行、 父の著書 父は多忙に 床次逓 つた書 『逓 頭 相 崩 信 脳 は

との 岡 んとする際に 月 任記者たる六、 田 昭 床次氏、 『政治記者の有竹修』 内閣 和十 事多忙を 動揺し漸く望月逓相な一年の九月初旬、床次 その して、 なり 七年の自分は有竹君 明早朝急死したるなり。 明日同盟 即ち同盟は 氏 次洗 を知る。 認 ·登場 通 可 相 信将に生 0) ず。 病気 印 共に三好 注 を押さん その 死亡 逓信省 れ出 朝 間 後、 Н で 旬

> 竹氏 兄 病気の始 の著書 注 酒を飲 のなり。 元 『歴代逓 ť 大阪 そしてその場に喀血がの場に配者)を交へて 袹 昭 の横 和二十年 顏 -七月初 に書き込み 7 8 記 これ 富 す ĺ 士 我の

が

当時の ない 若き日 なしと腹 富士 大橋八郎次官に告げたが、 の二・二六事件で凶弾に倒れた高橋是清蔵 病 床 0) 日記や手紙はなく、 0 重 「駅逓寮属官時代」 逓信協会雑誌 を決め、 床次氏は聯合だけ参 は父がよく飲 九月七日、 0) + んで その を執筆して 喀血後の 加 年五月号に 明 11 翌 0) た小 日 朝亡くなっ 新 容体は 判 通 料 を 信社も 理 押 分から は す 屋 Þ ع 直



同盟設立を推進した進藤誠一氏あての手紙 (昭和12年6月6日付)

同盟通信社の誕生を見て病気退社

は許可しない。 報を使ってニュースを受発信するのは同盟以外に 省は国際放送電報規則の改正を断行した。 正式に業務を開 同年五月末、 電通不参加のまま、 相はついに同盟通信社の設立を認 去から二カ月後 ついに 始した。 電通は通信 「切り札」が行使された。 その四日前の歳末、 翌十一年一月一日から (取材・編集) の昭和十年十 部門を 放送電 逓信 月、

前掲の回想にあったように、父は新通信社のって日本最初の国家代表通信社となった。切り離して同盟に引き継ぎ、同盟は六月一日をも

た。 に推敲した(『新聞通信調査会報』昭和四十三年といい、浅野氏が書いた。古野氏はこれを徹底的 五月一日号の座談会「裸像・古野伊之助を語る」)。 使いにやった。すると、父は、「治ったら復職さ 助氏が、「一時休職して郷里でゆっくり静養しろ。 痾となる)。 付で同盟を去った。三十七歳の働き盛りである。 せるという古野さんの一札がほしい」と頑張っ 治ったら復職したらいい」と政治部の浅野豊氏を 翌七月 かくして父は、 古野氏は、「よし、その一札をおまえが書け」 同盟通信社 が起きた時に喀血して倒れた(それが宿の回想にあったように、父は新通信社の 合併の 日、日、 問盟設立 同盟の常務理事に就任した古野伊之 レールを敷いた無線課長奥村喜和 官制 への指導、 電通合流一カ月後の六月三十日 の半 0) 年前 内 . 閣情報委員会が公布さ 監督を任務とした。一 に内閣調査官に転じ、

> 国策の電力国家管理を推進する。次官大橋八郎氏 国策の電力国家管理を推進する。次官大橋八郎氏 国策の電力国家管理を推進する。次官大橋八郎氏 国策の電力国家管理を推進する。次官大橋八郎氏 国策の電力国家管理を推進する。次官大橋八郎氏

だと妙な勇気が出ます=十二年三月二十七日》ですね。然し今後もチャンスは来ましょう。そんがします。(中略) 英独へ行けなかったのは残念がします。(中略) 英独へ行けなかったのは残念がします。(中略) 英独へ行けなか、前途程遠い気がします。(中略) 英独へ行けなかにあると、一度外国に行って死にたいものな手紙を承ると、一度外国に行って死にたいものでしばと妙な勇気が出ます=十二年三月二十七日》だと妙な勇気が出ます=十二年三月二十七日》だと妙な勇気が出ます=十二年三月二十七日》だと妙な勇気が出ます=十二年三月二十七日》だと妙な勇気が出ます=十二年三月二十七日》だと妙な勇気が出ます=十二年三月二十七日》だと妙な勇気が出ます=十二年三月二十七日》ですね。

取り、その返信であろう。
へ出張する話が立ち消えになった旨の手紙を受けへ出張する話が立ち消えになった旨の手紙を受け

進藤氏の左遷人事に「切歯扼腕」

た。後で明かされて驚いた」と述懐した。 潜んで会議を壁越しに立ち聞きされたこともあっは根掘り葉掘り取材され、会議室の隣のトイレに問題を主管した進藤誠一氏である。「内海君からがもう一人いる。逓信省電務局長の時に電聯合併がもうでは、

> 然として御慰めの言葉もありませんでした。(中ねて御人格と御手腕とを悉知していた私には唯茫な手承、実に実に意外の感を深く致しました。か 春まで静養、春四月頃には拝眉の栄を得られるかせん。降って私こと(中略)万全を期する為、明 と楽しんでいます。 拓されるを信じます。切にそれを祈念して已みまされて與えられし新しい御仕事に一大新生面を開 されて與えられし新しい御仕事に一大新生 きものがあります。 逓相の無責任な態度は国民の一人として唾 思に堪へません。すると数日後の内閣総辞職の報 略)省みれば僅かに一年に満たない離京なのに逓 願して已みません=十二年六月六日 く、大悟徹底されし進藤さんには次の大飛躍を期 に接し、愈々もって不愉快になりました。 なるを覚えました。 信部内の動きの速かなること月並ながら感慨無量 郵 務 否、 そして今後 局 中 略) 私の正義感は切歯扼 御 申し上 転任 一層の御指導を懇 げるまでもな 御 趣 を 産業すべ 腕が 聞 0

により格下の郵務局長に異動させられた。(日露戦争時の児玉源太郎将軍の息子、官僚出身)最短距離にいたが、林銑十郎内閣の児玉秀雄逓相知った。進藤氏は経理局長を務め、逓信次官への十二年五月の逓信省人事を療養中の父は新聞で

るに忍びなく、取って置いた」と語った。てしまう習慣だったが、内海君の手紙だけは捨て、雄藤氏は、「手紙は読んでしまえば、大抵捨て

州通

連盟

E

A N A

地中

·海通

信社連盟

生

多メディア時代 の課 Aがソウルで特別総会 題 に 取り組む

が参加、 新たな連携を模索

開催された。 信社首脳会議 が四月二十一日から二十三日まで韓国・ソウルで ANA) の特別総会 0) されているが、こうした多メディア時代の通信社 在り方を討議するアジア太平洋通信社機構 ースメディアをめぐる環 П] ・バル化、 地域のITC (OANAサミットコングレス)」 デジタル 「アジア・ (情報) 境は劇的な変化にさら 化 通信技 の進展の中で、 太平洋ニュース通 術 環境やニ アジ ô

た。 迎えることから、 に挑戦していくべきかをめぐって意見を交換し 性」を基調テーマに、 デジタル化、 O 世界三十三カ国から、 .特別 Ă N 今年は韓国の聯合ニュースが創立三十周年を が総会は 信社が参加する大会議となった。 A 0) オンライン化などの課題にどのよう 信やオーストラリアのAAP通信な 州 通 常総会は三年に一 通 その記念行事として行われ 中東アフリカ地域を代表する 信社 多メディア時代に通信社が が直面する課題と可能 オブザー 度開 バーも含め、 催 され フラン る

> が代表として参加した。 どの通信社連合組織の代表も参加しており、 集局長)、 た。日本からは共同通信社 (AMNA)、バルカン通信社連 米大陸を除く世界の通信社代表が顔をそろえ 時事通信社 中 由 正 (伊藤修一常務理事編 博代表取締役社長) A M N A 、事実 な

共同通信社経営企画

顧問)

進国と開発途上国間の情報格差を狭め、 ンスの取れた国際情報秩序をつくるものと信じて き上げられることを望む。 洋地域の通 きた。このOANAサミットを機に、 迅速かつ正確に広める上で、 トがアジア太平洋地域に移りつつある中 いる」と祝辞を寄せた。 NA加盟社は同地域の躍動的な発展像を全世界に ン)韓国首相も出席、「世界の 総会の開会式では、 信社の相互協力が一段階高い水準に引 鄭雲燦 OANAサミットが先 重要な役割を担って (チョン・ カウンターウエ アジア太平 よりバラ で、 ウンチャ O A

で、「世界人口の半分を超えるアジア太平洋地域 におけるニュースの直接的で自由 したの A 通信 OANA会長のアハマド・M A (インドネシア) Ν А 0) 精神を 社長は開会の ソウル · ユ な交流に向け誕 んで振り イスフA あ い返りた めいさつ Ν A T

R

だ」と特別 域通信社連合組織との新たな連携を模索する機会 社各社が生き残りを懸けて相互協力とその い」と述 ア環境の変化に直面している〇 総会開催の意義を強調した。 「グロ] バルなデジタル 時 代 他の地 盟 0) メデ

断力と確信を持って新たな道を開拓してい く契機となることを願う」と述べ 通信産業の危機を乗り越えて新たな協力の ればならない。このサミットが伝統的 た急激なグローバルメディア産業の変化の 社長は歓迎の 聯合ニュースの朴珵讃 あいさつで、「デジタル革命 (パク・ジョンチャ なニュース いかなけ 中で決 が招

聯合ニュースが活発な動

ほか、 り上げた。 特別会見に応じるなど、 する歓迎宴を開き、ソウル市長も夕食会を開いた 韓国政府も外交通商相、 信社として、力を付けてきたことが背景にあ しての法的な位置付けの中で、 ト役を務めたことは近年、「国家基幹通信社」と 韓国 李明博大統領も各社代表を青瓦台に招いて の聯合ニュースがOANA特別 文化体育観光相らが主宰 国を挙げて特別総会を盛 マルチメ 総会 ディ ア通 ホ

り、 界の最先端を行っている韓国の 株主になっている。 ース通信振 ビスのデジタル対応には早くから取り組んでお 聯合ニュ 動 画配 |興財団が株式の三割以 ースは株式会社だが、 信などの映像サー I T 化、 オンライン化では世 ビスは〇四年から 通 公益法人の 信社として、 上を保有して大 ニュ サ

しているという。

おり、百二十本のビデオクリッピングを制作配信

ポータルサイト向けに配信しているほか、一日当
一日九時間の映像ニュースの生放送をテレビ局や

関係を強化した。 覚書を締結。 を交わした。そのほか聯合ニュースは、 ンツ交流 ースコンテンツ交流をはじめとする包括的協力の ANAサミットを機会に、 信との間で映像をはじめとするニュー 合ニュースは開会に先立ち、 と相互協力に向けた了解覚書 アジア太平洋地域の通信社との協力 七カ国八通信社とニュ 中 玉 玉 $\overset{\textstyle \overbrace{M}}{\overset{\textstyle O}{U}}$ 今回の〇 スコンテ 営新華社

国家の後押しを受けて、オンライン化、多メデー国家の後押しを受けて、オンライン化、多メデー国家の後押しを受けて、オンライン化、多メデー国家の後押しを受けて、オンライン化、多メデースののよりでは、近くなった。

を遂げ、 を中心とする通 年にユネスコ(信社が加盟する国際通信社組織である。 0 A N A は 象に通 現在では世界の人口の三分の二を占める 創設されて以 現 在、 信社の協力機構として着実な成長 国連教育科学文化機関) 世界三十三カ 来、 アジア太平洋地域 国 兀 のイニシ + 一九六一 0) 通

洋州などの地域通信社連合という性格から、ユーだが、設立当初の北東アジア、東南アジア、大

され、IT革命やグローバル化への対応に差が出 くかが問われているといえよう。 勢も残っているが、グローバル化の中でどのよう に自らの発信機能を強化し、 たニュース情報の市場優位性に対抗するという姿 ていることも事実だ。欧米中心の価値観に基づい ラシア全域、 ルの 加盟通 が相違、 デジタルデバイドの問題なども指摘 中 の間で 東 は、 まで 共存共 域間 社 が (生を図ってい 広が 9 技術 た結

要性」を指摘した。 t o や民間企業をサービス対象としてきたこれまでの 生き残り戦略について「新聞や放送局、政 の中小規模の通信社が置かれた立場を分析、 が大きく変貌しようとしているアジア太平洋地域 ソウル大学の姜南俊 ーン大学のオリバー・ボイドバレット教授と国立 皮して、 B t o 通信社の直面する課題について基調報告を行った。 この中でボイドバレット教授は、 特別総会の全体会議では、 C、のビジネスモデルを構築することの ニュース消費者個々人を対象にした´B В の通信社のビジネスモデルから脱 (カン・ナムジュン) 教授が 米ボウリング・グリ メディア環境 \'府機関 その 重

は、ニュースの信頼性が決定的に重社が生き残っていくための競争力な必要性」を強調しつつも、「ニュー 要」と「価値のあるニュースコンテンツの創出 姜教授も「個人消費者向け が生き残っていくための競争力を保つ ニュースの信頼性が決定的に重要だ」 その上で、 このような信頼されるニュ Ó サー ・ビス ス市場で通信 公拡大の と指摘 っために 1 ス \mathcal{O} 重

にとって最大の課題だと強調した。や利用者に供給していくことが通信社の生き残情報を適切な方法と手段で、デジタル時代に読

挑戦していこうと呼び掛けた。 べての通信社に新しい考え方、 新しい多メディア時代は、アジア太平洋地 ディアの世界の変化は加速度的に進行 い相互関係の確立を求めている」と述 加盟各通信社に協力してデジタル 各国報告では共同通信社の伊藤修 新しい 代表が 行 こしてお 代の 動、 O A N 課題に 域 のす ŋ

上回った」ことを紹介した。 にとどまったが、 12%減少、インターネット広告も1・2% る発行・販売部数も減少し続けてい の柱である広告収入が激減し、 の経営基盤が変化の影響を受け 日本で支出された総広告費が〇九年に前年比 日本でも、 初めてインターネット広告費が新聞広告費 通信社の最大の 新聞広告費が19%も減少し 利用 もう一 始めて 者で る」とし、 いる。 あ 社であ 0) る たたた 増 加

る」ことを強調した。 って読者のニーズに応える公平、 所に届けられることを基礎としており、 利が保護され、 は、取材源へのアクセスが保障され、 また「通信社が守るべき健全なジャ 迅速 で正確なニュ 必要とされるニュースが必要な場 ースの 提供 公正で偏見のな が可 著作者の権 これによ ナリズ 能にな

で危険にさらされるジャーナリストの安全確保のその上で、緊急のテーマとして「報道取材現場

「ソウル宣言」で団結と協力うたう問題」を取り上げるよう要請した。

特別総会は二十三日、相互協力の拡大を骨子と特別総会は二十三日、相互協力の拡大を骨子と、団結と協会」をデーマに行った会議とディスカの挑戦と機会」をテーマに行った会議とディスカの地戦と機会」をデーマに行った会議とディスカの危機を、団結と協力を通じ克服する」と明記している。

具体的な協力案としては、多様なコンテンツを 型む顧客のニーズに応えるため、既存のテキスト と写真中心のサービス交換を動画、オーディオク と写真中心のサービス交換を動画、オーディオク と写真中心のサービス交換を動画、オーディオク を関係である情報交流システムを強化する ないまで拡大、相互サービスの交流拡大を図る合 でイア向けに開発される新たなサービスや商品情 でイア向けに開発される新たなサービスや商品情 報を随時共有できる情報交流システムを強化する ことも盛り込まれた。

中海通信社 て参加したバルカン通信社連合 (EANA)、アラブ通信社連盟 また、 別通信社団体と、 OANA加盟社は今回オブザー し合わせた。 連盟 A M N A 大陸間交流を積極的に進める F A N 欧州通信社連盟 (ABNA)、地 A しとし の地

画が重要だ」と述べ、各通信社は多メディア時代信社が持つ夢とビジョンを実践するために実践計ユスフOANA会長は閉会のあいさつで、「通

. 相互協力を実行すべきだと強調した。

援を引き出すよう努力すべきだと注文した。ポートするため、各国政府や国連などの機関の支や受けていないと懸念を表明、弱小な通信社をサッールは絶えず発展しているが、多くの人が恩恵通信のメハル社長は、技術とコミュニケーションオブザーバーとして参加した国営アルジェリアオブザーバーとして参加した国営アルジェリア

5項目の行動計画を採択

1. 迫り来るメディア産業の危機に対して、O画を盛り込んだソウル宣言の内容は次の通り。通システムの強化」などを求める五項目の行動計がイアコンテンツの交換協力拡大の強化や情報流ディア時代に対応した映像・音声などのマルチメディア時代に対応した映像・音声などのマルチメディア時代に対応とに採択した「OANAが多メ

- 1. 迫り来るメディア産業の危機に対して、O 4. ANA加盟社間の統一と団結を強化し、記 などのマルチメディアコンテンツに拡大して などのマルチメディアコンテンツに拡大して などのマルチメディア産業の危機に対して、O
- 営に関する各社の経験を交流する。の地域通信社機構との提携を深めて編集・経システムを強化する。加盟社間、あるいは他1、配信先のニーズに対応するため、情報流通
- 準備する。言論の自由の追求を続け、ジャーミナーや専門教育機会を設ける中長期計画をもジャーナリストに対する中長期的な訓練セーのANA加盟社は人的交流を拡大し、中で

う。

上の支援のための仕組みを開発する。持する。小規模通信社への技術上、組織運営ナリスト倫理を高貴な価値として支持し、維

- アポする。 ・ OANA加盟社は報道の自由とジャーナリストの安全を守るため、関係する各国政 おいて、報道活動に生命を賭しているジャー ズム倫理を追求する。特に紛争地域や戦場に ズム倫理を追求する。
- める責任を担う。 ・ 通信社はより賢明で英知に富んだ社会と未ら、 通信社はより賢明で英知に富んだ社会と未ら、 通信社はより賢明で英知に富んだ社会と未

て、了承された。
一三年の通常総会をモスクワで開くことを提案しバートルで開催することや、イタルタス通信社がバートルで開催することや、イタルタス通信社がウランこのほか、特別総会の席上、来年七月にOAN

0ANAの通常総会は一○年十一月にトルコの

地域環境に合わせた課題への対応が必要となろり越え、変化に対応していくためにはそれぞれの社連合として、加盟通信社間の違いや温度差を乗域ごとに多様な条件があり、OANAが地域通信でジア太平洋地域のニュースメディア市場は地

名誉棄損と発信者情報の開示

マスメディア関連の裁判を見る(47

(原審・東京高裁平成二○(う)一○六七)ほか/(最高裁第一小法廷(平成二一(あ)三六○、/

佐藤英雄

判決を破棄。さらに、 月十三日には、 た東京高裁の判決を支持して上告棄却を決定。 示義務があるとする判決を言い渡した。 信者情報開 応じないのは重大な過失があるとした東京高裁の 小法廷が三月十五日、 判官全員 示請求事件で、 一致の判断だった。 相次ぎ最高裁の判断が出ている。 第三小法廷が発信者情報の開示に 第一小法廷が四月八日、発 一審無罪を逆転有罪にし 経由プロバイダーに開 いずれも 第 兀

真実と誤審しての発信は責任を問えない

東を中心としてラーメン店のフランチャイズを展 京都内のプログラマーが、 月にかけ、 ル・ジャパン株) 小法廷 根岸食品 自己が開設したホームページに、 (白木勇裁判長) 「貴方が (現在は商号変更によりグロー をひぼうする、 平成十四年十月から十 『根岸』で食事をする 0) 名誉棄損は、 「インチキF 関 東

し、罰金三十万円を求刑された事件。ます」などと、虚偽の内容を記載した文章を掲載と、飲食代の四〜五%がカルト集団の収入になり

インターネットの書き込みが原因の名誉棄損

で、 認めることができない」ほか、「資金の流れにつ いても取り立てて問題視すべきであると考えられ れるものの、両者が法人格において一体であると 品とカルト集団との間には一定の関係性が認めら あったとみることはできない」とした。 ない」など、「重要部分が真実であるとの 東京地裁は、平成二十年二月二十九 ヒト、 カネ、 モノの観点からして、 日 証明 根岸食 0) 判 が 決

な判断をした上無罪とした。すべきかどうか」と疑問を投げ掛けて、次のよう上の表現行為について従来の基準をそのまま適用ところが、判決は一転して、「インターネット

マスコミと個人との関係とは異なる。インターネ情報の発信者と受信者との立場が固定されてきたんど誰もが容易にアクセスできる情報ツールで、(①インターネットはアクセスさえすれば、ほと

に対して反論することができる。利用できる環境と能力がある限り、容易に加害者行為を知り得る状況にあれば、インターネットをット上での表現行為の被害者は、名誉棄損的表現

け止められている。

③被告人はインターネット上で情報を発信する。 ③被告人はインターネット上で情報を発信しるのと認められ、名誉棄損の罪責は問い得事実がいずれも真実であると誤信してこれらを発す調査を行った上、本表現行為において摘示した際に、個人利用者に対して要求される水準を満たない。

適用基準の緩和は被害者保護に欠ける

誉を棄損する内容の表現を閲覧した第三者が閲覧 すること自体そもそも不可能である。 0) するとは限らない。 論する機会があったとしても、 のすべての情報を知ることはおよそ不可能であ 名誉が、 その存在を知らない被害者には、 加害者が再反論を加えることにより、 層棄損され 東京高裁は、 加えて、 時にはそれがエ ①インターネット上 被害者 これを被害者の名 の反論に対 反論を要求 被害者が反 スカレ

トしていくことも容易に予想され

匹 るのは、 名誉棄損は免れないとした基準を緩和しようとす が判示する、 能性があることをもって最高裁大法廷判決 供されることを考えると、 刻なものになり得る。 十四年六月二十五日、 ②インターネットの広範な普及に伴い、 被害者保護に欠け相当ではない。 真実であることを証明がない以上、 従って、 文字通り多数の者の閲覧に 「夕刊和歌山時事事件」) その被害は時として深 被害者に反論の可 そこで (昭和

あっても同様である。 に、インターネット上の情報の中にも、確実な資 定できない。しかし、 性が低いとみられるものが多数存在することは否 金三十万円を言い渡した。 するし、このことは個人利用者が発信する情報で はインターネット上に限ったことではない。逆 (3) 根拠に基づいた信頼性の高いものも多数存在 確かにインターネットの情報の中には、 そのような情報が存在する などとして、 求刑通り罰 信頼

告は事実関係の確認も怠る

利用者による表現行為と名誉棄損罪の成否につい ない」としたが、 事実誤認の主張であって、 のような判断を付け の上告に第一小法廷は、「単なる法令違 職権で、 加えた。 インターネットの個人 上告理由に当たら

0 ①インター 利用 者が 一瞬時に閲覧可能であり、 ネット上に載せた情報は、 これによる 不特定多

1

こと、一度損なわれた名誉の回復は容易でなく、 当であって、より緩やかな要件で同罪の成立を否 照らして相当な理由があると認められるときに限 ると誤信したことについて、 を考慮すると、 図られる保証があるわけでもない。このことなど インターネットの反論によって十分にその回復が 定すべきものとは解されない。 名誉棄損の被害は時として深刻なものとなり得る 名誉棄損罪は成立しないものと解するのが相 行為者が摘示した事実を真実であ 確実な資料、 根拠に

関係する会社に事実関係を確認することも一切な の書き込み、 高裁の判断を支持した。 かったことなどの事情が認められる一 チャイズシステムについて記載された資料に対す ら作成されたにすぎないものもあること、 であるが、このような資料の中には一方的立場か 真実であると誤信して本件表現行為を行ったもの たメールなどの資料に基づいて、 登記簿謄本、 る被告人の理解が不正確であったこと、被告人が ②これを本件についてみると、 加盟店の店長であった者から受信し 市販の雑誌記事、 インターネット上 摘示した事実を 被告人は、 として、 フラン 商業

度を超えない

信者情報の開 電気通信役務提供者の損害賠償責任の制限及び発 ダー責任制限法」) 第三小法廷 示に関する法律 田 [原睦夫裁判長] に基づき、 (いわゆる「プロバ 発達障害児が学 0) 判決は、 特定

> 求めて争った事件 続サービス業のDIONと、 ぶ学校法人A学園の学校長が、 発信者情 インターネット 報 0) 開

するインターネット 人の氏名や住所、電子メールアドレスの開 攻撃であり、 長」との書き込みがされた。 art2」と題するスレッドに、 月、「2ちゃんねる」の電子掲示板で「A学園P なにこのまともなスレ気違 同学校長が開示を求めた理由 校長側は、 侮辱に当たる」として、 「気違いという表現は、 接続サー ビスを利 はどうみてもA学 は、 DION が 提供 平 激し -成十九 書き込んだ 用して、 三示を請 11 人格

であって」、 場合にのみ損害賠償を負うと解するのが相当であ とができないとして破棄した。 がある」として、 害賠償責任を制限したもので、 バイダー責任制限法が、 請求に応じなかったことについては、 相手方の権利 ることは、社会生活上許される限度を超えてその できる状況でその人を『気違い』であると指摘 上告人が被上告人からの本件発信者情報の開 東京高裁は、 しかし、第三小法廷は、 「本件スレッドにおける議論はまともなも 「『気違い (名誉感情)を侵害する」。 「対象となる人を特定することが 十五万円の損害賠償を命じた。 といった侮辱的 ①サービス提供者の 上記判断は是認するこ その理由を、 重大な過失がある 重大な過失 従って、 プロ

求したが、発信者の同意を得られず、

開示されな

かった。

ものでは であるということはできない」とした。 れる限度を超える侮辱行為であることが とどまるものであって」、 含むとは 事実を摘示してその社会的評価を低下させる いえ、 被上告人の名誉感情を侵害するに 被上告人の 「これが社会通念上許さ 価値に関 一見明白 具

由プロバイダー は開示サービス提供者

NTTドコモが上告してい 京)に求めた事件。 発信者を特定する情報の開示をNTTドコモ 市内の建設業者が損害賠償訴訟を起こすため、 話の掲示板で名誉を傷つけられたとして静 の第 小法廷 東京高裁の控訴審で敗訴した (金築誠志裁判長) は、 東

ないから、 示関係役務提供者」にも該当しないとした。 コンテンツプロバイダーとの間の一対一の通信を 介する、 掲示板は、 告理由は、 「特定電気通信役務提供者」にも いわゆる「経由プロバイダー」にすぎ 不特定の閲覧者が受信する携帯 特定電気通信設備を管理運営する 開 電

プロバイダー 氏名等を把握していることが多いこと、 ような事情にかんがみると、 これに対し同小法廷は、 を利用して行われるのが通常であること、 ネットを通じた情報の発信は、 イダー以外はこれを把握していないこと いことは、 は、 課金の都合上、 いずれも公知である。この 「本件のようなインタ 電子掲示板への書き 発信者の住所、 経由プロバイダ 半面、 経由 経

> って同法四条一項にいう う)『特定電気通信役務提供者』 情報を記録するためにする発信者とコンテンツプ れることになる」として上告を棄却した。にも該当しないとすると、法四条の趣旨が ダーが(プロバイダー責任制限法二条三号にい ロバイダーとの間の通信を媒介する経由プロバイ ことを目的として特定電気通信設備の記録媒体に 込みのように、 最終的に不特定の者に受信され 『開示関係役務提供者』 法四条の趣旨が没却さ に該当せず、従

下級審は既に開示判決が続

られているので、これからデータを送り出したパ ほとんどがハンドルネームである。 ソコンの身元が分かる。 るIPアドレスは、 は把握しない。一方、ネットワークで使われてい ロバイダーは、書き込まれた内容によって削除要 請には応えられる場合もあるが、 【後書き】インターネットの 各コンピューターに割り当て 掲示 発信者情報まで コンテンツプ 板は、 筆者 0

かる。これは職場のパソコンを使用した場合でも 所、 同じである。 IPアドレスは、パソコンに付けられた個人情 である。 メールアドレスや送信年月日と送信時間が分 使用されたパソコンの所有者名、 住

報

抗議や、 づく発信者情報 使われているのが、 ネット上 法的措置に欠かせない身元の割り出しに のひぼう、 0) 開 プロバイダー責任制限法に基 示請求である。 中 傷 (名誉棄損) に対する

> Ŕ 前記の最高裁判決より一足早 の開示を命じる判決を出している。 大阪地裁が経由プロバイダーに、 プロ バイダーに発信者情報の開 い三月二十 発信者情 示を命じた 五日に

いえる。 高裁の判断は、これを後追いして確認したも 下級審で相次ぎ原告勝訴となっていて、 経由プロバイダーに身元の開 平成十五年九月十二日の東京地裁判 示を 命じ 今回 決以 た のと [の最 後 訴

り、 で、「プロバイダーの責任を制限する法律」 過失がある場合でなければ応じないなど、 求者が生じた損害についても、 い。また、開示の請求に応じないことで、 入る。ただし、 って請求すれば、プロバイダー側で開 務局はテレコムサービス協会) 発信者情報の取得は、 消費者目線の法律とはいえない。 相手側の同意がなければ開 電気通 故意または重大な が決めた書式によ 示手 団 開示請 あくま 体 であ

数は、 平成十七年の五千七百八十二件から同二十一年の どの程度あるのだろうか。警察庁の調べでは、 裁判外紛争処理システムの開発が望まれ 道府県警察のサイバー犯罪相談窓口で受理した件 八百五十六件への急増に次ぐ増加であり、 万千五百五十七件に倍増している。 インターネット上の名誉棄損事件は、 架空請求メールの八千六十八件から二万五千 名誉棄損、 ひぼう中傷に関する相談」 同期間で つた が、 都

(朝日新聞社社 友

3 D Τ V 米ケーブル大手ESPNが始める ·放送、 でお 目 見

専門チャンネル大手のESPNは先月十一日、南 アフリカで開幕したサッカーワールドカップで コンテンツの開発に乗り出しており、 もテレビ受像機 3 D 亓 を続ける映画業界にとって新たな利益を生み出 能性を予感させた。 D テレビチャンネルをスタートさせ 映 画 「アバター」 メーカーとの協力で積極的に3D これに続いて放送業界で の世界的 なヒットは、 米ケーブル 低 初

「アバター」で、二〇〇九年十二月十八日公開以 流れをデジタル化することで、 できることに注目が集まっている。 千二百九十万~~、全世界では百九十七億~~となっ 体質となっている映画産業の財務体質を健全化 3 映画 今年五月までの配給収入は北米で七 映画制作、 はジェームズ・キャメロン監督のSF大作 D 映像の世界を人々にとって身近なものにし [業界では「アバター」の大ヒット以上 映画配給、 映画興行に至る一 利益が上がりにく 十四 連の 億 七

くるものとみら 販売プロモーションがますます激化して 利益率低下を挽回するため、 メーカーも れる。 「フラットパネルテレビ」 これに付随して期待される 次世代3D 製

> があったほかは、特に問題はなかった。またES像圧縮技術にかかわるとみられる画面のフリーズ ド・ワールド PN3Dチャンネル開始のスポンサーとなったS 信・上映において、 ポーツ専門チャンネルESPNは ンライン、六月十一日)。 ヤスティング・アンド・ケー キシビションパーティーを開いた ONYもフロリダ州オーランドの「ESPNワイ ービス(HBS)から送られてきたシグナルの受 った。南アフリカ・ヨハネスブルクの配信放送サ 韓国メー ベントを開催。 Nは本社のコネティカット州ブリストルで記念イ サ 0 ンを対象に、3Dテレビを体感してもらおうとエ が映像コンテンツの増加だっ ―メキシコ戦」で3D放送を開始した。 カー -カーの が開 幕した六月十一日、 スポーツ」会場で、 会場で使用された3Dテレビは、 「サムソン」と「現代」 最初の三十分間 ・ブル (B&C)」、オ (『ブロードキ ケー サッカーファ 南 ル のものだ アフリ 数 ・ブル ド 回、 E S P -カップ 眏

を 一 中二十五試 問題が見られたが、 ここまでの仕上がりには満足している」 え間なく試 ー上席副社長は る。 ESPNテクノロジー担当ケビン・ 南アフリカで試 試合当たり、 B & C , 合を3D制作する。 合が続くサッカーの中継は大変だが、 「放送最初の部分で小さい 最低でも七台投入する。 合制 オンライン、 大会期間中に解消される。 作に当たるHBSでは期 この際3Dカメラ 六月十 ストロワジ 日)。 と話して 技術的 絶 間

41

る (『B&C』、 トとは言えないポジションしか残らないことにな れに加えて3D 試合当たり三十二台のカメラが 制作スタッフもかなりの苦労を強 通常の2D オンライン、 カメラを設置するとなると、 継を行って (二次元) 六月七 作と3D 設置されるが、こ 2 D いら れてい ベス 材

ションが放送された。 るスポーツ番組「スポー が次回公開する「To SONYである。 ヤンブル の3Dテレビセット、 でかみそりイメージが有名なジレ 告主として名乗りを上げたのは、 放送時間中の3Dコマーシャルも放送され 社傘下のアニメーション部門ピクサ ワールドカップサッカーの3D放送に P & G , CMスポットにはP&G ESPNの ESPNが常時放送して У ツ・ S t o r センター」プロ 親会社ディズニ ツト、 プロクター&ギ у 併 ソニ クサ それ た。 せ モ 広

ライン、六月十四日) 3Dの車CMを制 例えばメルセデス・ベンツやレ 敏感な消費者ターゲットを意識 上に存在することを好感している。 ESPNは3D広告に興味を けしてい る。 クサスでは、 するメーカー 示す企業 B & C , 一業が 技術に 予 オン

アニメによるリアルなゲー このほか、 ムメーカー 今後可能性がある広告主として立体 も有力になるとみら ム感覚を訴求 したいゲ

金山 勉=立命館大学教授)

メディア談話室

機密費問題とメディアの沈

びゃーナリストが政府の人間からカネをもらう ことは、職業人として致命的な行為である。その にとは、職業人として致命的な行為である。その をする。それだけに、複数の政治評論家らに現金 で盆暮れの付け届けをしていたという野中広務・ では存しての発言は、ジャーナリズム全体にとっ てゆるがせにできない問題をはらんでいる。 しかし不思議なことに、新聞もテレビも今のと ころ、それほど衝撃を受けた様子も見せていな ころ、それほど衝撃を受けた様子も見せていな ころ、それほど衝撃を受けた様子も見せていな ころ、それほど衝撃を受けた様子も見せていな ころ、それほど衝撃を受けた様子も見せていな ころ、それほど衝撃を受けた様子も見せていな

盆暮れに五百万円

球新報』に報じられた。官房長官の管理する官房に放映され、そのあと同じ趣旨の講演内容が『琉野中発言はTBSとのインタビューとして四月

というのである。への盆暮れの付け届けなどにも支出されていた、への盆暮れの付け届けなどにも支出されていた、収集目的のほか、国会議員の外遊の餞別や評論家機密費から毎月数千万円の現金が政界工作や情報

藤

田

博

司

このうち評論家への付け届けは「盆暮れに五百このうち評論家への付け届けは「盆暮れに五百このうち評論家への付け届けは「盆暮れに五百にしなかった。政治家から評論家になった人でにしなかった。政治家から評論家になった人でにしなかった。政治家から評論家になった人でにしなかった。政治家から評論家への付け届けは「盆暮れに五百このうち評論家への付け届けは「盆暮れに五百つ。

とをあっさりと伝えていた。 の紙面に、 は全く新味のない記事で終わってい のインタビューをわざわざ伝えているのに、 時)に至るまで続報らしい続報を伝えていない。 の検証記事を掲げたほかは、六月半ば 『東京新聞』 毎日新聞』 『朝日新聞』をはじめ幾つかの新聞は五月一日 あまり目立たない扱いで同じ趣旨のこ が五月十八日付の特報面でこの問題 は五月二十一日付紙面で野中氏と しかしその後は、 (本稿執筆 中 身

> とされる評論家の数や名前には、 ベールがかかったままだ。 ぶりに語った、数百万円の付け届けを受け取った 付け届け」を認めた人はいない。 を引き出してはいる。が、 府や関係機関から受け取ったことがあるとの話 一部の人たちから 京 新聞 特集は数 「講演料 野中発言の 人の評論家らに当 野中氏が思わせ 依然として厚い 原稿 「盆暮れの 料」を

あいまいな発言で疑念

を問わねばならないことになる。 を問わねばならないことになる。 野中発言の持つ意味は深刻である。実際に官房 を問わねばならないことになる。 要中発言の持つ意味は深刻である。実際に官房 を問わねばならないことになる。

「政治評論家」と呼ばれる人たちも一様ではない。独立して評論の筆一本で仕事をしている人もい。独立して評論の筆一本で仕事をしている人もう少し具体的な材料を明らかにしない限り、彼もう少し具体的な材料を明らかにしないが、野中氏がら全員が読者、視聴者から疑いの目で見られることになりかねない。

たあらぬ疑いであれば)耐え難いことだろうし、そうなることは現場の記者にとって(もしそれ

ろう。 必要があるだろう。 にもっと具体的 テレビ局 ある人間がいないかどうか、 同時にそれぞれの社内でこの問題にかかわり や新聞 れば、 な事実を公表するよう迫るべきだ 社にとっても受け入れ難 メディア各社としては、 徹底的に調査する いことだ 野中氏

欄 声 にメディア全体に対する不信感を一層強めること た疑心暗鬼が残るだけでなく、 が既に現れている それをしないでいると、 「言論界への機密費流用追及を」 新聞の投書欄にもそれを示唆する読者の (例えば 1 つまでももやもやし 『朝日新聞』 六月四日)。 視聴者の間 声

メディア自身で検証

ともできないのだろう、というものだ。 うがった見方もある。 問いただせない理由があるからではないか、との 手に野中氏を追及することも社内の調査をするこ 題で沈黙を守っているのは、声高に野中氏を 中発言から二カ月、 すねに傷持つ身だから、下 ほとんどのメディアがこ

をあ 下での一 権交代も実現して、 後既に十年以上が経過している。 しかし野中氏が官房長官を務めたのは小渕政 いまいにして、 で芳しくない関係を持った記者がいたとし 九九八年夏から翌年秋までの一年余、そ く過去の過ちを認めて正せばいい。 している。 政府とメディアの間の関係も 今なお政治取材の現場に往 仮に野中長官時代に、 昨年夏には政 政府 事実 権

> 方が、 べて、 める声が高まり、 ている。官房機密費の支出についても見直しを求 権は、さらにその透明性を高める方針を打ち出し しようと努めてきた。 と同じような関係が続いていると疑わ 民主党政権は、少なくとも自民党政権時代に比 政治とメディアの関係をより透明なものに メディアにとってはよほど痛手が大きい。 政府も検討を約束している。 鳩山政権の後を継いだ菅政

聴者の不信を買うばかりである。 取材源との関係の在り方を再検証し、 していい結果をもたらさない。 きりとその立場を示すべきではないか。 したり言い訳をしたりすれば、 のがあればきちんと清算すべきだろう。 てメディアが何を考えているの メディアの側も、この機会に過去の取材慣行や かえって読者、 か、この際、 野中発言に対 やましいも なまじ隠 沈黙は決 は î 視 0

公共的役割」 果たせ

ていて物足りない。 費そのものをめぐるメディアの報道も、 政 治 評論 家 の問題は別にしても、 官房機 腰が引け 密

房機密費を 策委員長、 外旅行する国会議員に五十万ないし百 退した歴代首相経験者には盆暮れに二百万」「海 して領収書も取らず、 いってい 「首相の部屋には毎月一千万、 た 参院幹事長には月五 「毎月五千万円から七千万円くらい 野中氏は言う。 使途も明らかにされない 百万」「政界を引 自 民党の国会対 方。 こう 官

使

外流用の不正支出の疑いが十分ある。 えられている様子はない。 いはずだが、そうした努力の結果が報 不正支出があればその責任をただす努力をしてい メディアは当然、 税者としては黙って見過ごすわけには に毎年十数億円の税金が使われていることを、 しい使い道に充てられていたとは思えない いらのカネはどう見ても「機密費」 国民に代わって使途を究明し、 こんなふう いかない。 道の形で伝 にふさわ

が、 げたと思われる要素がどこにも見当たらな 聞の取材力がそれほど落ちたとは思いたくな になぞったもので、 道ぶりを見ると、どれも放送の内容を申し訳程 TBSがインタビューを伝えた後の各新 放送から一週間以上たってからの報道として あまりにおざなり過ぎる。 TBSの報道をさらに 掘り 聞 0 度報 下

場が気付いていないとすれば、 される。 うメディアの るメディア側の思惑が、その力と意思をそいでい 現場に欠けているためだろう。「評論家」をめぐ るのかもしれない。もしそのことにメディアの現 深刻か、 おそらく、官房機密費のはらむ 国民の目線で判断する力と意思が報道 役割もいずれ読者、 ニュース報道を担 視聴者から見放 問 題 がど れ ほど

割」の最たるものである。 思うのは大間違いである。 的に扱うだけで読者、 房機密費問題 0) 追 足及はメ 視聴者を満足させられると ワー デ i **イ** 共同通信社社友 アの F カ 「公共的 プを大々

普 天 間 基 地 打 開 と日 米 交 渉

権の試金石に

タッチで、 0 設」をめぐって迷走し続けた鳩山由紀夫政権 0 菅直 9.9 人 任した。 前途多難な船出となっ 民主党代表が六月八日、 16 10 「政治とカネ」 6 2 退陣によるバ 天間 第九 飛 十四 **紀行場移** 代首 トン $\widehat{2}$

日米安保協議委員会

(SCC)

メン

バ 1

は、

尚

0)

論じるには 難問は山積しており、 況打破を望む声は強い。 つ取っても難題ばかり。 会保障の拡充・少子化対策など内政問題のどれ 治資金の透明化・財政健全化・経済成長戦略・社 政治家で、異色の首相誕生に、社会の閉塞状菅氏は市民運動の世界から政界入りした。庶民 考察を試みたい。 因 日米同盟」 幅 掛かっている。 た が足りないため、 普 再構築の 天間 起死回生の道は険しい。政 それに加え、 しかし、 基地 多岐にわたる問題を ″宿題″ 問 内外を取り巻く 題」について検 **"鳩山政権瓦解** が、 沖縄基地問 日本政

県外移転」 の 公約果たせず

設に関する外 亩 政 府は五月 務 防衛担当閣僚による日米安全 一十八日、 米軍普天間飛行場

> 共同声明を発表した。 しまった。 極めて重く、 で、五月末 普天間基地を国外、 しに戻る。 したものの、 保障協議委員会 相が昨 年 政策転換を強行し (二〇一〇年) 菅新政権は重い足かせをはめられて 迷走を繰り返した揚げ 「宜野湾市民を悩まし続けてい (2プラス2) 最低でも県外に移設する方針 普天間移設問題は、 決着を目指す」と公約 の合意に基 その政治責任は 句、 ~振り出 鳩山 Tづき、 る

なぞったような内容に驚かされ 子は次の通りで、十四年前の「ロードマップ」を 官・ゲーツ国防長官の四氏。 田克也外相・北沢俊美防衛相、 ①沖縄を含む日本におけるプレゼンスが、 両政府共同声明の クリントン国i 務長 骨

を防衛し、

地域の安定を維持するために必要な抑

日 本

部隊 の在沖縄 Ł 約九千人の沖縄から米領グアムへの 実施する決意を確認した。 の日米ロードマップ」に記された再編案を着実に ることを再 施設の完成に向けての具体的 ム協定) 止力と能力を提供することを認識した。 南の大部 ②6年5月1日のSCC文書「再編実施 3 に定められたように、 MEF)の要員約八千人およびその家族 海兵隊のグアム移転に関する協定 確認 分 0) 施設 した。 の統合および返還を実現する グアム 閣僚は、 への移転は、 な進展に懸かってい 第三海兵機動展開 移設は、 09年2月17日 嘉手納 のため (グア 代替

> 年8月 できる限り速 水域に設置する意図を確認した。 ンプシュワブ辺野古崎地区およびこれに隣接する て千八百㍍の長さの滑走路を持つ代替施設をキ 家による検討を速やかに 代替施設の位置、 面 末までに)完了させることを決 政 府 やかな返還を実現するために、 オー バー 配置および工法に関する専 ランを含み、 (いかなる場合でも 普天間飛行場の 護岸を除 定した。 10

押し付けに沖縄県民は反発

するとの方針を打ち出して沖縄の県民感情を逆 いで、 か。 を軽減し、 は感じられなかった。 に苦慮しており、十一 でしたため、早くも いに何とか応えたいとの思いからではなかったの は、 鳩 ところが、迷走の果てに米政府との合意を急 Щ 「辺野古沖移設の工法を八月末までに決定 在日米軍基地の75%が集中する沖縄 前首相が 国外・ 「普天間基地移設 県外移設を求める沖縄県民の願 ″赤信号″。 日 の所信表明演説 菅新政権は対 に取り 組んだ い斬新さ の負担

繁栄を支える国際的な共有財産といえます。 地の移設 な負担を引き受けていただいています。 日本の防衛のみならず、 基調とした外交を推進します。 世界平和という理想を求めつつ、 同 責任感に立脚した外交・ 縄 関 は ・返還と一 係を深化させます。 米軍基地 心が集中 部海兵隊の アジア・ 安保政策」 と前置きした後、 沖縄の ……日米同 グアム 太平洋の安定と 『現実主義』を 移転 方 々に大き 0) 普天間基 盟は、 項 何

ざるを得なかったと推察できる。

軍

相 0 県民が納得 としても実 !減に尽力する覚悟です」と述べただけで、 した顔触れからは、 衛相がともに留任、 濃い内閣 就任で九月の民主党代表選挙までの暫定的色彩 決定でも強調されたように、 現しなけ できる展望を示せなかった。 先月末の日米合意を踏まえつつ、 「2プラス2」 ればなりません。 従来通りの 前原 誠 司・ の岡田外相と北沢 対米姿勢を示さ 沖縄担当相も留 沖縄の 突然の首 沖 負 基 縄 担 同 地

だ。 と主張。 説で『海兵隊をなくし、 意した辺野古移設案は撤回しない』との宣言にほ 相が再任された。沖縄側から見れば に沿った形で『決着』 てこう答えている。 米国の51 かならず、 て』に加担した形の二人を残した陣容は で 部分を国内、 菅内閣では、 米国 考えやす が 内 菅氏は2001年沖縄での参院選応援演 へ の 03年には本紙インタビューに党代表とし 『日本は米国の あ 縄 も兵力構成の考えが変わってきている。 人目の州知事になろうとしている』と批 新 には 移 政 転より、 普 基地をなくしていこうと 国外問わず、 権の沖縄施策に疑念を抱かざるを 普天間 天間飛行場を含め、 『第3海兵隊遠征軍のかなり さらに させた岡田外相と北沢防衛 51番目の州、 飛行場問題を米国 訓練を米領域内に戻す』 ワイなど米国領内への 沖縄 06 年の れから移 沖 『沖縄切り捨 縋 小泉首相は 海兵隊をグ 知事 いう長年 転すべき 『日米合 0) 意向 選 応

> 就き、 参院選→九月民主党代表選挙を乗り切って本格政 だろうが、一国のリーダーについた以上、この 米同盟再構築」に全力投球してもらいたい。 権の陣容を整えた菅内閣が、 説)を、菅首相は深刻に受け止めるべきだ。 るはずだ」との 決別には、 を痛烈に批判してきた菅氏である。 題を避けては通れまい。 する発言を控えるようになった。 権交代を実現したころから菅氏は外交・安保に関 え、対米追従外交からの大胆な転換が含まれてい などの米国に移転するチャンスだ』 沖縄問題は担当ではないとの遠慮もあった 沖縄県民は期待をかけていたが、 金権体質や利益誘導型政治の一掃に加 『琉球新報 戦後日本の外交の在り方 文字通り対等な 0) 治摘 財務相ポストに 古い政治 6 • 昨 と訴え続 治との 七月 日 社 間 政

政権は緻密で大胆な日本外交を築け

だ。 いる。 県内移設受け入れを説得し切れない段階まできて 沖縄にこれ以上の 民の基地負担は限界を超えており、 しかし、 古に移設する日米合意を継承する考えを伝えた。 とが引き継いだ私たちの責任だ』と、 政権の下で形成された合意をしっかり踏まえるこ 全保障体 一菅氏はオバマ米大統領との電話会談で『鳩 普 H ここは 米間 天間 在日米軍基地の約75%が集中する沖縄県 制 では同盟関係を 飛 を弱体 やは 行場の国外 ŋ 基地負担を強いることは日米安 化させかねないと警鐘 政権交代の原点に返って、 県外移設を追 『深化』 させる作業が 抑止力論では 名護市辺野 足求すべき を鳴 Ш

> との せが、 を切って見直そうとしたこと自体に無理があった 独自の外交努力も求められる。 東アジアの緊張を緩和させる、 同時に、 むべきであり、 指摘する通 全く不十分だ」と、 隊を含む米軍の抑止力の必要性についての説明も いない。 痛みを国民全体で分かち合う』 支えられている現実がある。 ように、日本の安全保障が沖縄の重 縄の犠牲の上にただ乗りをしてきた』と指摘する と言わざるを得ない。大阪府の橋下徹 権交代したからとはいえ、 策の方向を決めるといわれるほど重 オバマ氏と日米首脳会談を行うが、この カナダでの主要国首脳会議 にも対応できるよう んで 縮小案を提示し、 そもそも国家間の 幅広い議論をするべきでは 『東京新聞』 テロ 菅政権下の日米関係を占う試 W 、るが、 米軍のプレゼンスを徐々に減 ならばこそ日米の合意を先送りしてで りで、 対 応、 大胆でドラスチッ 6・9社説の 事面 エネルギー 新時代に適し 中国 日本独自 進 合意というの 「の協力に限らず、 化 [新聞] それを半年とい (サミット) その点では させる必要もあ など地球 菅氏は今月 はなかっ 方向性は間 緻密で大胆 平 た対米再交渉に臨 視点に共 5 クな在日 は、 主い基地 主いもの 金 たか。 29 社 交の 知事 規模 石となる」 らせるよう 個 、感した。 初顔合わ 出 『沖縄 の課題 意気込 1米軍基 一違って 田席時に 説 負担 が う期 マの な日 下 境 海兵 힋 る。 P 沖 限政政

池田 龍夫= ジ ヤー ナリスト)

み

を世界に示してほしい

地デジTV 83 8 %に

前回から14・3㍍上昇―浸透度調査

務省より発表され ルテレビ放送に関する浸透度調査」 五月二十七日、 この三月に行われた「地上デジ の結果が 総

た前回の調査から4・3浮上昇した。 四千百九十万世帯相当) 放送に対応したテレビの世帯普及率が83・8% 今回の浸透度調査では、 と、 三月時点で地上デジタ 昨年九月に行われ

原口一 報じられるなど、 果は、この目標値を2・2浮超えた。 月末時点の目標値は81・6%だが、今回の調査 放送推進のための行動計画」で示された一〇年三 た目標値を超えたのは初めてのこともあって、 のアナログ 総務省が二〇〇三年四月に策定した「デジタル 「デジタル放送推進のための行動計画」 博総務相はこの日の閣議後会見で「来年七 (テレビ放送の) 関係者からは安堵の声が上がっ とコメントしたことが 停波に向けて、自 浸透度調査 0) 示

らえたものが多い。 の調査データを扱う報道も、 しか 目標値を超えたから この数値をと

> 結果の偏りや結果への影響なども考慮して、 だが、調査方法によって生ずることが予想される サンプル調査に誤差は付き物であるのはもちろん の有効性と限界性を見極めることが重要となる。 といって、 ータを読み込む場合、 どの社会調査でも言えることだが、その調査デ 単純に安堵するのは早計だ。 内容等から、 デー

そ

浸透度調査をどう評価するか

タと向き合うべきであろう。

を所有し、 送し、返送してもらう方法を取っている。この方 n 想像できよう。 る世帯の方が、 され、協力を求められたサンプル世帯では、 調査対象には選ばれない。 調査に応じてくれると回答した世帯に調査票を郵 しても地上デジタル放送受信機を既に所有してい 法では、最近急増しているとされる携帯電話のみ ら調査対象世帯を機械的に抽出するRDD 選び出された調査対象世帯に調査協力を依 今回発表された調査は、 固定電話を持たない若者単身世帯は、 調査に応諾しやすいことは容易に また、 固定電話の RDD法で抽出 電話 法によ 番号か どう 頼

的である地上デジタル放送への円滑な移行を進 は膨大で、 ちろん、そのような調査を行うことにかかる費用 ルの悉皆調査を行う以外に、 ろうか。もし、その主張を通すのなら、 ない」と切り捨ててしまう論法もいかがなものだ しかし、だからといって「この調査は そのような調査を行うより、 方法はなくなる。 全国レベ 本来の目 信用でき b め

> である。 きであろう。 るため の対応策に、 社会調査とは信頼性と妥当 人と金」 をより 層 性 0) 注 産

うか。 界性への 利用される場合が多いということなのでは より問題 一配慮が足りないまま政 となのは、 調 査 データがその はなかろ

度が加速していることは間違いなかろう。 も続いていくのかどうかである。 は容易に予想される。問題は、 によって、受信機の買い替えに弾みが付いたこと 由の一つは、エコポイント制度などの普及支援 できる。そのことで言えば、 ように進んでいるか、 一較することで、 今回 の調査結果は、 デジタル放送の その傾向を推測することは 昨年九月に実施 この弾みがこの 浸透が今、 心した調 普及速 どの 査 理

9 % 普及状況の差である。 う順となった。最上位となった富山 の結果では、 変化が大きくない部分もある。 なった沖縄県の差は22・9浮であった。 他方において、前回の調査と比較してもさ 低い方を見ると、 埼玉県の88・4%、 岩手県の66 富山県が最も高く · 7 % ワースト3は沖縄県の65 四十 岐阜県の8・3%と続 長崎県の72 七都道府県別の普及率 例えば、 88 • 8 % 原と ・9%とい 各県別 最下位と それ ほ

次いで石川県が77 方は、 前回 の調 岩手県が最下位 査では、 1 奈良県が最も高く % で 55 岡山県が76・ 2% その 7 4 % 沖 低

11

うことでもあろう。 越えるだけの方策が示されるに至っていないとい えるなど地理的条件が厳しい県である。言い換え 連ねる沖縄県や岩手県は、 変わっていないということになろう。 23・2次である。 位となった奈良県と最下位となった岩手県の差は 縄県で55 査に含まれる誤差を考えると、 地理的条件の厳しさや文化的な背景を乗り 3, この数値を比べて見た場合、調 いで山 離島や山間地を多く抱 梨県が57・3 その差はほとんど 下位に名を %

う世帯が、前回の36・5%から19・0%に減少し みるべきだろう。 徐々にではあるが、 として、共同受信施設において対応受信機を保有 たことである。遅ればせながら、 していても地上デジタル放送を視聴できないとい は、この調査結果で山間部などの難視聴解消対策 前回の調査 効いてきていることの表れと との比較で注目され 辺地難聴対策が たの

(聴施設のデジタル化対応が急務

方において大きな課題は、

何と言ってもビル

障害対策共聴施設、 陰などによる難視聴対策として造られてきた受信 トなどの集合住宅共聴施設によるデジタル放送へ 移行に向けた対応である。 そして、 マンションやアパー

ば、この三月末の受信障害対策共聴施設のデジタ 化対応状況は、 同じ五月二十七日に、 !対応状況」が公表された。 全国約六万三千施設のうち、 総務省より「共聴施設デ それによれ

局

デジタル化計画を策定済みだという。 みであり、また、 47・8%に当たる約三万施設がデジタル -施設が、 化対応済

だ。 いた約三割の施設がまだ手付かずで残っているの 応済み、 向けた対応が終わっていないことになる。既に対 信障害対策共聴施設が、デジタル放送への移行に 言い換えれば、まだ約半数のアナログ放送の受 デジタル化計画を策定済みのところを除

ていることになる。 応済みだという。こちらも、 77・3%の約百六十五万一千施設がデジタル化対 については、全国約二百十三万六千施設のうち、 他方、集合住宅共聴施設のデジタル化対応状況 まだ22・7%が残っ

を割っている都府県が目立つ。また、茨城、栃 しては、関東、東海、近畿で対応済み施設が5% 県でデジタル化率が8%を下回っている。 木、埼玉、千葉、東京、 エリア別に見ると、受信障害対策共聴施設に関 神奈川といった関東の都

の放送がなされてきたために、UHF波用の受信 の地上波は独立U局を除けば、すべてVHF波で を使ってサー ビ大阪がUHF局であることなどもあって、 成してきたこと、 アンテナを整備する必要性が低かったことによる。 これは、地上デジタル放送がUHF波帯の電波 ちなみに近畿圏では、 のサンテレビがプロ野球の阪神戦を積極的に編 ・ビスが提供されるのに対して、 テレビ東京の系列局であるテレ 神戸に本社を置く独立U 関東 関東

> るというの に比べてUHF波用の受信アンテナが普及して が、まことしやかに語られている理 由

るが、デジタル放送への完全移行予定 あった。この数値と今回の数値との比較でいえ で「計画未定または未確認」 は未確認」 階での受信障害対策共聴施設で、 ミットまで、あと四百日弱しかない。 総務省の発表データによると、 急ピッチで対応が進められていることが分か の施設は52・1%、 の施設は28・7%で 集合住宅共聴施設 〇九年十二月段 「計画未定また のタイムリ

が見えてくる。 である。そのことを考え合わせると、 論議されなければ、この問題は前に進みにくい。 で、この問題が議題として上がり、 般的に集合住宅の管理組合の総会は、 マンションなど集合住宅では、 管理組合 その対応策が 厳しい現実 年に一度 合の 総会

ることになる。 もさまざまで、 対策共聴施設、 況を示したロードマップも公表したが、受信障害 共聴施設、集合住宅共聴施設のデジタル化対応状 、の移行に向けた対応は、それぞれの施設の事情 総務省はこの日、 集合住宅共聴施設のデジタル放送 個別具体的な準備と対処が迫られ 各市 区町村別の受信障害対

電波行政の能力が試されている。 そのような状況もあり、 推進支援策が次々と発表され 現段階でも、 7 新たな対 H

0)

好宏=上智大学教授)

中国の新聞界にもデジタル化の大波生 き残り 策め ぐり 議論

中国の折引を見は、日本や米国に比べれば、ま観、悲観、さまざまな議論が交わされている。ており、新聞がどう生き残るかをめぐって、楽でおり、新聞がどう生き残るかをめぐって、楽明設しているが、ネット事業で十分な収益を上げ開設しているが、ネット事業で十分な収益を上げ開設しているが、ネット事業で十分な収益を上げ

ていかなくてはならない」もデジタル出稿を優先したものに全面的に改変しにデジタル化対応を進めるべきだ。新聞社の組織にデジタル化対応を進めるべきだ。新聞社の組織にがら取り残されることのないよう、「時代の潮流から取り残されることのないよう、「時代の潮流から取り残されることのないよう、

る意見だ。国新聞出版報』五月二十六日付)は、よく聞かれ国新聞出版報』五月二十六日付)は、よく聞かれ副院長・教授の范東昇氏のこのような主張(『中副頭大学長江マスコミュニケーション学院常務

れるようになっている。とは別に、現実を見極めようという異見も散見さしかし、ここへきて、こうした威勢のよい議論

由」(『中国報業』五月号)はその一つ。考「新聞電子版の課金がうまくいかない三つの理め川日報報業集団の運営責任者、李寧西氏の論

載を禁じることで言論の影響力をむしろそいでし 新聞の特徴を色濃く残したままデジタル移行して な負担で、 まう恐れがあるので、 報道」「独自評論」が成り立たない、 ットでは、情報が次々と転載されるので、「独占 ライン課金を導入したいというのは本音だろう。 に機能していない現状で、 われるが、ネットにおける広告モデルが思うよう たような新聞閲読習慣は既に無いの イダー料金に加えて払わなければならない二次的 い②消費者から見れば、 [人民日報] 九〇後」たちには、 李氏は、それが中国で難しい理由として、 現時点では、 彼らを引き付けることはできない 心理的抵抗感が大きい③「八〇後」 と『温州日報』のサイトぐらいと思 一部オンライン課金しているの それ以前の世代が持ってい 転載禁止の決断自身が難し コンテンツ料金はプロバ 各社、 可能ならばオン だから、 あるいは転 -の三点 紙の ① ネ は

> 号) だ。 国権氏の論考 対するもう一つの異見は、 〜私の反 巷うかん で流布する 『メディア 「新聞 新聞社 |融合] ・ネットは 論 のデジタル対応 (『中国 融合すべきでない 研究所 報 業』五月 沈策」に の陳

ると指摘する。 じる一方、柔軟な発想で事態を好転させた例もあ 金といった従来モデルにはもはや頼れない、 優越性を全く喪失している現状を分析。 全国展開する有力なサイトとの競争にさらされ、 た新聞が、 陳氏はまず、 ネット上に出 物 理 一的に発行地 た途端、 域ごとに区 浪、 広告や課 搜 切ら 狐 と断 など

年間四千万円を超す利益を得るに至っている。 これがネットユーザー 集自らが務める。書き込みは一日平均六万余件。 億円を売り上げた。 引と自紙の配送システムを組み合わせて昨 た、杭州日報報業集団旗下の杭州網は、 小口広告を幾つかのジャンルに分類することで、 口の広告主の目も引き付けた。 板の充実に努め、ボードマスターも報業集団 例えば、済南日報報業集団! の評判を呼び、 旗下 こうして集まった \dot{O} 一舜網は、 さらには 電子商取 年は二 掲 ま 小

が飛躍につ 報共有とか、 モデルにとらわれず、 融合』 問題は、 を強調し過ぎることにある。 ながる ワンソー あまりに伝統的 と陳氏は語ってい ス・マルチユ 発想を根 新聞とサイトとの 本的に改め 1 スと 存の新聞 か、 ること 情

(木原 正博=日本新聞協会審査室長)

新聞通信調査会・同盟育成会人事

氏を選任した。 客員研究員 し出のあった佐々木良浩評議員の後任に時事総研 五月二十六日、 新聞通信調査会と(財) (元時事通信社出版局長) 評議員会と理事会を開き、 同盟育成会は の中山恒彦 辞任申

◎講演会

講演会を開いた。 日、 辺陽介氏。演題は「緊張高まる朝鮮半島」だった。 (公財) 東京都港区虎ノ門の通信社ライブラリーで 新聞通信調査会と同盟クラブは六月三 講師は共同通信社外信部長の渡

◎同盟クラブ会員総

内豊彦氏、 氏と榊原潤氏を選任した。 案通り承認・可決した。また理事として現在の山 年度事業・決算報告、 同盟クラブ(山内豊彦会長) 同盟クラブ通常会員総会を開き、 長谷川和明氏に加え、新たに佐々木坦 同二十二年度予算報告を原 はこのほど、 平成二十一

〕新入寮生22人、新奨学生30人─同盟育成会

子十七人 与型を十一人に支給することとした。 寮生は男子二十七人 (うち途中辞退者四人)、女 学寮新入寮生22人と古野奨学生30人を決めた。入 査の結果、募集枠いっぱいの男子十二人、 人を選考した。また奨学金は貸与型を十九人、 同盟育成会はこのほど、平成22年度同盟 から申し込みを受け、 女子十 厳正審

時事通信社社友会総会

事 通信社社友会の平成二十二年度総会は、 Ŧī.

> ビル二階ホールに会員百七人、 予算などを承認した。 月十九日 して開かれ、平成二十一年度決算、 (水)正午から東京・東銀座の時事通 社側二十人が出席 同二十二年 度 信

が贈られた。 十分用心して過ごすようお願いしたい」と述べた。 友人、先輩が他界している。 この後、次の米寿三人、喜寿二十五人に記念品 あいさつに立った榊原潤会長は 皆さん、体調管理に 「最近、多くの

郎、 内邦夫、鎌田洋、玉川秀雄、 伸、 桑野巍、 【米寿】 喜寿 阿部勇治、 是枝治、大林乾悟、 田村久、 小関哲哉 川俣昭、 梅野憲治郎、 黒川末男、 斎賀稔、 沖野照明、 渡部信清、 中垣弘、 加藤保雄、牛田一芳、山 岡田真三郎、 吉田次良、 西岡隆彦、 内田治男、稲葉 石川秀次 安藤悟、 宮川 好

【 悲 報

港北区仲手原2— 成会評議員)六月五日死去、 にこ)さん。 信社監査役、 佐々木 良浩氏(ささき・よしひろ=元時事通 前新聞通信調査会評議員、 19 14 喪主は妻の久仁子(く 68 歳。 自宅は横浜市 前同盟育

寄贈の書籍・ 資料 40

江口郁子氏から

▽『ジャーナリズムの思想』 (原寿雄著、 岩波

▽『ジャパンタイムズを知る本』(大方保監修、

印刷所

 \Box

座〇〇一二〇-

—七三四六七番

太

7

ジャパンタイムズ出版部、 ∇ 部玄冶訳、 『ロシア新聞史』(エーシン著、 未来社 ジャパンタイムズ) 阿部幸男・

呵

以下次号

[編集後]

た。「電子ペーパーが情報伝達の主流になる目 の適合性などについても示唆に富む内容でし 来を展望する』の監修もしていただいており、 査会で二○○六年十二月に出版した『新聞の 大学の面谷教授に登場をお願いしました。 電子ペーパー」研究の第一人者です。 ▽工学的な面からだけではなく、媒体として ▽七月号掲載 の講演は、 特別 企画として東 本調

ている様が印象的でした。 トだけではなく、フリーペーパーにも脅かされ きました。あの『WTポスト』がインターネッ 点」は、 している新聞社の実情を浮き彫りにしていただ ▽山本教授の「噴出する内外メディアの 内外の新刊書を取り上げ、危機に直 問

定価一五〇円 一年分一五〇〇円(送料とも)

発行所 東京都港区虎ノ門一―五―一六 公益財団法人 新聞通信 調

(〇三) 三五九三—一〇八一(代)

晩翠ビル四階 슾

E-mali:chosakai@helen.ocn.ne.jp ©新聞通信調査会2010

日々現実味を増

安は、十年」という見通しは、

してきそうです。

源の扱いがそれである」と答える。

そして、



田 博司 著 (リベルタ出版=一九〇〇円 税別

膝

一報道改革の分水流とうする情報源』

場で正面から議論されることのなかった、情報が問題なのか」と続け、「日本のメディアの現ために、現在の報道に何が欠けているのか、何ために、現在の報道に何が欠けているのか、何まえがき」)。

にメディアが国民に伝えるべき重要な事実だ。 一八一〇年一月)でも、「突如政治問題化した (二〇一〇年一月)でも、「突如政治問題化した のがこの情報源の扱い」であり、「これまで何 のがこの情報源の扱い」であり、「これまで何 のがこの情報源の扱い」であり、「これまで何 かを突いて鋭い。検察審査会に小沢氏関連事件 かを突いて鋭い。検察審査会に小沢氏関連事件 かを突いて鋭い。検察審査会に小沢氏関連事件 の審査を申し立てた市民団体の実体は、明らかの審査を申し立てた市民団体の実体は、明らかの審査を申し立てた市民団体の実体は、明らかの審査を申し立てた市民団体の実体は、明らかの審査を申し立てた市民団体の実体は、明らかの審査を申し立てた市民団体の実体は、明らかの審査を申し立てた市民団体の実体は、明らかの審査を申し立てた市民団体の実体は、明らかの審査を申し立てた市民団体の実体は、明らかの審査を申し立てた市民団体の実体は、明らかの審査を申し立てた市民団体の実体は、明らかの審査を申し立てた市民団体の実体は、明らかの審査を申し立てた市民団体の実体は、明らかの審査を申し立てた市民団体の実体は、明らかの審査を申し立てた市民団体の実体は、明らかの審査を申し立てた市民団体の実体は、明らかの審査を申し立てた市民団体の実体は、明らかの審査を対している。

ぎょうこうです。アファファー・ドッはきるメディア人はいないだろう。藤田氏ほど情報源の問題を正確に語ることので

藤田氏の著書に戻る――前記小沢一郎関連報「新指針」に触れつつ、「取材源を秘匿するのは「新指針」に触れつつ、「取材源を秘匿するのは「新指針」に触れつつ、「取材源を秘匿するのはそういえば、『読売新聞』の論説委員はこの

情報源と「リーク」(意図的な情報漏

そこでリー

クを否

かにする作業を毎日繰り返している」捜部の狙いを薄皮を一枚一枚はがすように明ら「人や資料から得た情報を重ね合わせて、特社会エディター(部長)の説明を引用している。定するメディアの合唱の一つとして、朝日新聞

理の実態を明らかにしている。
せいといい、検察の情報管前に終始し」「取材の実態について具体的に何高ことはわかる」としつつも、「この説明が建ることはわかる」としつつも、「この説明が建めかし、著者は「記者が大変な努力をしてい

ていて、 て、 れを取った「もうろう会見」、などを例証とし では書けなかったし、書けば報復を覚悟した。 では、検察幹部の何らかの「OKサイン」 着につながる危険な構造を警告する。 家同行取材など日本独特の報道慣行と結び付 た」と自慢するメディアトップ、外国報道に後 論を進める。「六○年安保の政府声明を代筆し ちなみに、司法記者だった小生も、 本書は情報源とメディアの相互依存関係へと 情報源問題が実は、記者クラブ制度や政治 究極的には、公権力とメディアとの 検 無し 11